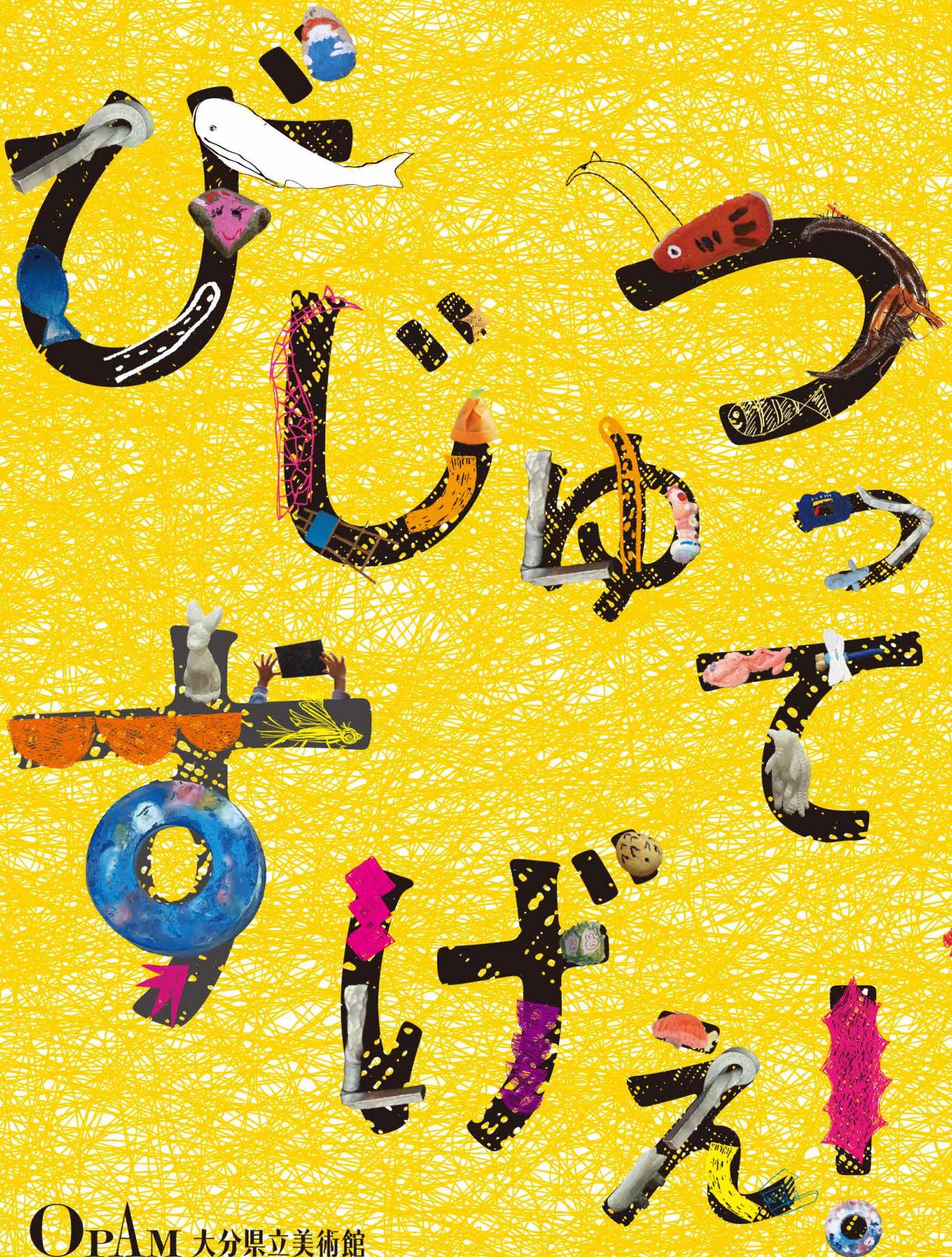


びしゃつって、すげえ!

2025-2026



OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

大分県立美術館 教育普及室

はじめに

大分県立美術館学芸企画課
教育普及室室長 榎本寿紀

キョロキョロ、ドキドキ、ワクワク
モノを視る楽しさを知ることこそ、“美術している”ことだ。

大分県立美術館は、2025年4月24日に開館10周年を迎えた。開館以来、多くの子どもたちが来館している。開館記念展 vol.1 モダン百花繚乱「大分世界美術館」では、県内すべての小学生を対象に実施したファーストミュージアム体験事業を行い、連日多くの子どもたちで賑わった。その数、6万人。限られた時間の中、ゆっくりとした鑑賞はできなかったものの、美術館という場を初めて体験した多くの子どもたちにとって、貴重な時間と場所との出会いになった。それは訪れる子どもたちの眼がキラキラと輝き、キョロキョロとあたりを見回しながら美術館を、そして作品を見ていたからだ。では美術館とはどういった場所なのか。そのことを考えるには、まず、「美術」とはどのようなものなのかを確認する必要がある。

美術を歴史的背景から、それとも制作・表現から考えるのか、様々なアプローチがあるが、教育普及的には、「美術は美しいモノを美しいと感じる心」あるいは美術とは「認識の拡大」としたい（「びじゅつって、

すげえ！ 2015-2016/p.3」。日常にある身近なモノやコトに目を向け、きれい・面白いと感じることは「美術している」ことである。自分の視点を持ち、美術作品に出会えば、自分の視方で楽しめる。自分なりの視点を獲得すれば、日常の至る所から美を発見できるとともに、美術作品に出会った時、視方や楽しみ方が膨らむだろう。では、美術館という場所について見てみよう。OPAM教育普及は、美術館は「学びの場」であるとともに、「遊びの場」であることを謳ってきた。モノを視る楽しさを知り、視ることに対して能動的な姿勢が重要となる。そんなことを開館当初から思い描き、活動してきた。

開館2年目以降、美術館に来る子どもやアウトリーチで訪れた学校で会う子どもたちは、美術館という場所に親しみを持った。ファーストミュージアム体験事業で来館した子どもたちは、今や高校2年生から大学生・大人になった。中には美術の世界に進みたいという声も聞こえるが、日々新しい

出会いの多い子どもたちにとっては、年々記憶も薄れていく。しかし当時訪れた子どもたちは、美術館に出会ったこと自体が何よりである。彼らがやがて親となり、美術館という存在を次世代につないでいくことを、あのキラキラした眼は物語っていた。

さて、美術館では今年度、10周年を記念した事業を数多く行った。その中で開館10周年記念企画展「LINKS—大分と、世界と。」「きらめく日本美術 1300年の至宝展」は、大分県の美術・文化がどのように展開してきたのかを、全国の美術館・博物館をはじめ、神社仏閣から数多くの作品・資料を集結させて物語る展覧会であり、学芸員の研究成果を展覧会という形で結実させたたまものだった。その展覧会に於いて、小学校3年生以下と幼稚園児を対象にしたギャラリートourで多くの子どもたちが訪れた。

また、1月1日、「きらめく日本美術」の企画をした宗像晋作学芸員と2人でギャラリー・トークを行った。宗像学芸員との即興ギャラリー・トークは「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグ

チ」(2017.11.17-2018.1.21)、「江戸浮世絵の黄金時代 The Ukiyo-e 歌川派—豊春から国芳、広重まで」(2019.9.20-10.27)に次いで3回目である。視方・楽しみ方を実施してから解説を聞く。あるいは解説の中で出てきた素材や色材を視る。打ち合わせなしの完全即興で終了時間も未定である。正月にも関わらず、多くの参加者に恵まれた。

こうした開館10周年企画展のほか、毎週末や長期の休み期間に数多くのギャラリートourやワークショップを開催してきた。美術館に訪れ、ゆっくりと過ごせたのなら、彼らはモノを視る楽しさを知り、今後開催する展覧会に胸を弾ませやってくる姿や、大人になってからも、家族と、友人との来館を思い描く。今年度の活動記録から、子どもたちがキラキラした眼で、キョロキョロ、ワクワク、ドキドキしている姿を見て、10年後、20年後、30年後の美術館に思いを馳せてほしい。



特別ワークショップ SPECIAL WORKSHOP



目にする世界、聴こえる物音 研ぎ澄まされる感覚

特別ワークショップは、普段ではできない長時間の制作や一人ではできない年齢を超えての共同作業を取り入れ、身体と感覚を活性化させるワークショップを行っている。今年度は、《音で遊ぶ》《視覚と触覚》《水を見る》《光と影》《色、いろいろ》と5つのプログラム、そして年末年始には今まで行った体感ワークショップの中からリクエストの多いワークショップを7日間連続で行う《カラダと感覚で遊ぶ日替わりワークショップ 7DAY'S》を行った。これらのワークショップは、通常行っている身体と感覚を活性化するワークショップを、時間を拡大して再編成した内容だった。ではなぜ身体と感覚を大切に、ワークショップを考えているのか。ここであらためて身体と感覚について見ていきたい。

私たちは、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚という、いわゆる五感を通して身の回りの情報を受け取っている。五感の世界を認識するための手段で

あり、生きるためには必要不可欠の感覚だ。美術は主に視覚芸術と言われるが、世界を認識するため、そして感覚は相互に関係しているため、視覚のみならず、五感を意識する必要がある。五感のうち、視覚・聴覚・味覚・嗅覚は首から上で感じる感覚だが、触覚は全身で感じる。温度・圧力・痛覚等を感じなければ、「今ここにいる」という自身の存在を感じることもできないだろう。触覚は生きていることを実感する感覚そのものと言える。

さて、美術館で作品鑑賞の際、触りたくなることはないだろうか。視触覚として触った感じを想像することはできるが、重さ・温度・テクスチャーは、対象との距離が0となり、初めて感じることで感じる感覚である。一方、色彩や画面の構図は視覚でないとわからない。絵から音を想像する。音楽を聴くと色や形で表現したくなる。インテリアやファッションをはじめとした生活

触れる、
聴く、
見る、
ってどんなこと?

榎本 寿紀

デザインでは触覚が重要である。こうして美術・芸術では視覚のみならず触覚や聴覚を、そして五感を横断しながら新しいイメージや表現を生み出していく。

開館してからこの10年。以前より情報伝達の速度は上がり、世界の裏側の出来事もすぐを知ることができる時代になった。しかし情報として何かを受け取ったとき、それで分かった気になることはないだろうか。それは本当に分かったことになるのだろうか。自分の身体と感覚は、今も昔も大切なものは変わらない。情報で知る様々なモノやコトは大切だが、体感するモノやコトも大切である。そして感覚を活性化すると、身体も心もウキウキ、ワクワクし始め、それは能動的な行動に繋がるだろう。普段、意識することの少ない身体と感覚に目を向けるのは、能動的になるための一つの方法である。身体と感覚を日ごろから意識して過ごしたい。

視覚と触覚

視ること、触ること、ひらめくこと

視覚はモノのカタチや色を、距離や空間とともに感じます。触覚はモノとの距離が0となり、温度や重さ、ボリュームやディテールを感じます。触る・触れる教材[Hands on Works]の作品を楽しみながら、視覚と触覚を刺激しました。



「箱の中身は何だろう?」少し緊張しながら手を入れてみる。紙をクシャクシャにして広げると、なんだか布みたい。ビーズクッションに身体を預けると、なんだか全身がグニャグニャになったみたい。そんな遊びをすると、いつの間にか触覚が目覚めてきます。それから布を広げたり、木の器やオブジェに触ったり、自分よりも大きな金属の作品に触りました。

触

ることからはじめよう



ガ

ラスと水晶、キラッキラ!

ガラスのコップやガラス製の骨格を持つ「偕老同穴」、ガラスのもとになる黒曜石や石英を、見て触って観察。水晶・ピーチグラス・石をベースに妖精をつくり、「命の繋がり」をテーマにした青木美歌さんの作品と一緒に並べました。



特別ワークショップ

SPECIAL WORKSHOP

水を見る

びしょびしょ、キラキラ
全身で水を体感

表面張力で盛り上がる物質性、向こう側が見える透過性、周りの景色が映る鏡面性という3つの特徴を持つ水を、全身で感じました。



びしょぬれワークショップ

水滴、しぶき、表面張力や波など様々な水の表情を、全身びしょぬれになりながら体感します。水風船約200個と水の塊で遊び、ビニールシートに水や食紅を入れて揺らすと水しぶきが上がり、色々な水の形や虹が生まれました。



カピカ、キラキラの水

ガラス瓶に注いだ水が、泡やしぶきを立てて盛り上がる。食紅を垂らしてできた色の渦に、みんなの目は釘付けになりました。ガラス板の上に垂らした水滴は、照明で二重、三重に輝き、懐中電灯で照らすと歓声が上がります。最後は青木美歌さんの作品を鑑賞しました。



音を描こう!

耳を澄ませて聴こえてくる音を、墨や絵の具を使って絵に表現。ここで大切なのは、音源の形ではなく、音そのものに注目することです。ぐにゃぐにゃ、カクカク…色々な模様を描かれました。最後はCD『国宝「上杉本洛中洛外図屏風」を聴く』(鈴木広志作曲)を流しながら、大きな画面に絵を描きました。



音で遊ぶ

音を描くと
どんな世界?

耳を澄ませば身の回りは様々な音にあふれています。その音はどんな形でどんな色かな?

特別ワークショップ

SPECIAL WORKSHOP

色いろいろ

全身を使って色に触れよう

植物や動物からつくる絵の具を使う、手足や身体を使って絵を描いたりぬったりしてみる…。様々なアプローチで色の魅力に触れていきました。

いのちがいっぱい。
絵の具にまみれて、青くなる

「海の底はどんな世界?」大きな紙に絵を描くため、初めは白いクレヨンで大きく手を動かして描くウォーミングアップ。それからクレヨン、水性ペンを使って魚やイルカ、サンゴなどを描いた後、今度は筆に水だけをつけ、再び手を動かすウォーミングアップを行いました。そこに保護者がカラーインクをたらしませます。水の上で広がり、混ざるインクから目が離せません。手や足も使いながら、絵の具で描きました。たっぷりぬった絵の具を布で拭き取ると、最初に描いた魚たちが下から浮き上がってきました。



アカ・アオ・キイロの インスタレーション

赤は情熱の色、青は静寂の色、紫は高貴の色、黄は光の色。そして赤・青・黒・白は春夏秋冬や東西南北、4種の聖獣と対応するなど、色を持つイメージや、古くから伝わる意味の話をしました。それらを絵の具にする場合は、天然の色材を使います。今回は藤黄(ガンボージ)、コチニール、臙脂綿(えんじわた)、紅花などから主に染料系の色素を抽出し、ガラス瓶にオリジナル・ブレンドを制作。さらに水を入れた瓶に絵の具を一滴たらし、ゆっくりと色が広がっていく瞬間を楽しめます。大小様々なガラス瓶に色水をつくって懐中電灯で照らすと、絵の具や染料の種類、調合によって、色とりどりの光が現れました。



まるで宇宙に 身を置いているよう

視点をマイクロとマクロに変えながら、そこに
見えてくるのは無限に広がる大宇宙でした。

光と影



バンブーギャラクシー

竹を薄くスライスした教材「竹びよん」をつないで、組んで、異空間をつくり、みんなで制作した星を吊るしました。そこへつくった星の模様を投影。光と影をダイナミックに使った3日間になりました。1日目は竹工芸の作品を、2日目は市川平さんの作品《ミラーボール仕様のマジカル・ミキサー》を鑑賞しました。



年 末 年 始

特別ワークショップ

カラダと感覚で遊ぶ
日替わり
ワークショップ

7 DAY'S

ウキウキ、ドキドキが止まらない! 年末年始は、これまで行ったワークショップの中から厳選した内容をギュッと凝縮して、特別バージョンとしてお届けしました。

美術館での通常のワークショップは2階アトリエで行いますが、年末年始は1階のアトリウムを会場として、いつもより大人数での開催になります。ワークショップの規模がよりダイナミックになり、通常とはまた違う印象になるのも特徴。カラダと感覚で遊ぶ日替わりワークショップ《7DAY'S》は、色とりどりの楽しさに満ちていました。

18日

2025

12.
29

ピカぱた

銀色のアルミ箔を広げるだけでも大興奮。みんなでそっと持ち上げると、カサカサ音がします。頭の上に高く持ち上げ、サッと離れると、キラキラしながらゆっくり落ちてきます。形は変幻自在。切れてもギュッと握れば簡単につながるし、造形遊びも思いのまま。

28日

2025

12.
30

カラフル・インсталレーション

色とりどりの紙テープを転がしたり、張り巡らせたりして、いつもの場所をカラフルにしちゃうカラフル・インсталレーション。床の上の紙テープを1カ所に集めて宙に投げ上げたり、細かく切って花吹雪のように舞わせたりしました。

38日

2025

12.
31

ころころピンポン

初めは1人1個のピンポン玉を弾ませます。2個、3個とだんだん増やし、たくさんのピンポン玉のシャワーを浴びました。両手いっぱい抱えて高く投げると、打ち上げ花火のように空中にピンポン玉が広がりました。

魔法! ワクワクのドキドキ、7日間の

58日

2026

1.
2

超ぼわんぼわん

年末年始の特別ワークショップだからこそ、アトリエにはおさまりきれない超特大サイズのビニール袋を、アトリウムで膨らませることができました。巨大送風機の爆音とともに少しずつビニール袋が膨らむ様子は、2階から見ると飛行船のようでした。

48日

2026

1.
1

ふわもこ鏡餅

OPAMワークショップの中で、毎年リクエストNo.1人気の「ふわふわ、もこもこの気持ち」、通称「ふわもこ」は、布をもって小さく、大きく揺らす。みんなの呼吸をあわせてパンザイから一気にしゃがみ込むと大きな卵のようなお饅頭のような形になります。お正月はその特別バージョン。ダイダイの帽子をかぶって中心に座り鏡餅になりました。

68日

2026

1.
3

くしゃくしゃポイポイ

1枚の紙を、揉んだり、切ったり、ちぎったりして、表情と触感を変えていきます。障子紙や薄葉紙など、紙が違えば、同じように揉んだり、切ったり、ちぎったりすると、さらに異なる触感が生まれます。全部をまき散らしたあとに、バケツに入れてひっくり返すと、巨大なプリンができました。

78日

2026

1.
4

ぼわんぼわんロング

チューブ状のビニールに空気を入れる。先端を閉じずにおくと、空気を送り続けている間は生き物のように動きます。その動きにつられ、みんなあっちへ行ったりこっちへ来たり。先端を閉じるとビニールチューブにもぐったり、乗っかったりと興奮はおさまりませんでした。



朝のおとなの

10:10 講座

お話から → 体験まで

開館早々の朝10:10から始まる美術講座。
美術の世界に親しみやすくなる
ワークショップ・レクチャーです。

中学生から大人まで

みる、 つくる、 かんじる

お話から → 体験まで



美術からみた文化

ちょっとだけ、ジュラシックワールド

ニワトリの骨には羽毛の生えていた痕跡があり、同じものが恐竜の骨からも発見されました。ということで、チュンチュン鳴いている雀の先祖は、ノッシノッシと歩いていたらしい。ニワトリの骨格標本、フクロウのはく製、ダチョウの卵にヴェロキラプトルの骨格模型や化石を見ながら、恐竜にまつわるお話を行いました。



大分県から絵の具をつくる

顔料と展色材

絵の具の元「顔料」は、その多くが石を砕いてつくられます。大分県は山へ、川へ、海へ行くと、多種多様な石を拾うことができます。その石を砕いてすり潰し、篩(ふるい)にかけた顔料は、加える展色材によって日本画・油画・水彩画・テンペラ画と、絵画の種類が変わります。



糸づくり綿・絹・羊

糸はどうやって作られるのでしょうか? 中世には羊の樹とも呼ばれていたふわふわな綿花からタネを取り出し、繊維をそろえる綿打ちを、コロコロした繭玉を煮てから繭糸を数本あわせて巻き取る糸繰りを、羊毛はカード機で繊維の方向をそろえて糸車で紡ぎます。実演を見ながら、参加者もチャレンジしました。



素材と技術

NUNOのNUNO

OPAMアトリウムにある《ユーラシアの庭「水分峠の水草」》を作った須藤玲子さんは、とってもたくさん布をデザインしています。教材ボックスにある須藤さんの布を見たり、包まったりしてみました。



視るは楽しい教材ボックス

日常の中にある美術や美術作品のお話です。
ほんのひとつき、美術館ですごしてみませんか?



夜のおとなの 金曜講座

OPAM ART CLUB
OPAM美術部

大分県内の
 中学生・
 高校生対象



2025年度のテーマ

視る・知る・描く

(美術の基礎と美術館)

美術が好き、美術が気になる

中学生・高校生から、「学校で美術に接する機会が少ない」「専門領域に触れる機会が少ない」という声が聞こえてきました。それではと、ちょうど「ファーストミュージアム体験事業」で小学生だった子どもたちが、中高生になった時、OPAM美術部を始めました。

今年度は「視る・知る・描く～美術の基礎と美術館」をテーマに活動を行いました。基本的な活動日には、モノを視るためのデッサンを中心に、色材・画材の使い方や、様々な描画法を体験し、自身の描きたいテーマ・モチーフ・描画材を設定して制作しました。自主活動の日もあり、描くのが大好きな部員はコツコツと通い、描きました。また、開館10周年記念企画展の鑑賞ワークショップも行いました。

6月スタートです!



美術の世界をのぞく楽しさ

活動の中で特に興味深い学びや初めて知った描画法など、感じている魅力を美術部員たちに教えてもらいました。

視る



OPAM美術部の時間に、ギャラリートークとともに作品を見ると、一人で見るのとはまた違う発見があります。「福田平八郎」の展覧会では、ある鯉の絵で、水を描いていないのに鯉が水に浮かんで見える表現方法が面白かったです。「きらめく日本美術」では、仏像と目線の高さを合わせてみるなど、知らなかった見方も。能面は下から見るとちょっと威圧感があるし、背伸びすると悲しそうに見えるなど、角度を変えてみただけで表情がコロコロ変わってビックリ。作品の見方を深掘りでき、印象深い鑑賞方法を学びました。



中学2年生
 福山優香子さん

知る



色々な画法の中でも木炭デッサンが心に残っています。木炭は鉛筆と違って柔らかく、粉がパラパラと落ちてきて、粉の感じもいいなと思いました。佐野藍さんのドラゴンを描いたのですが、ドラゴンの細かいところも木炭だと細かく描けず、その仕上がりが新鮮でした。

描く



自主制作ではフクロウを描いていますが、細かく柔らかな毛並みを表現するのが難しく、美術部に用意されている7BやHなど多種類の鉛筆を使い分けしながら、挑戦しています。7Bのほうが滑らか、Hはカラッとしているなど、鉛筆の違いによる描き分けを試しています。

中学3年生
 利行奏信さん



テンペラ画との出会いで
 広がった世界

月1回の定期活動と自主活動に参加する中で、特に興味深かったのは、初めて知ったテンペラ画です。描くための土台作りに時間がかかるので、根気強さも養われたように思います。東京から来てくれた外部講師によるテンペラ画の講義もあり、個人の進捗を見ながらアドバイスをしてくれたのも印象的。金箔を使った装飾技法を体験できるワークショップにも参加でき、貴重な体験ができました。同じ中学校の友達も所属していて、作業の合間に話をするなど、交流できるのも楽しいです。今はデジタルイラストにも興味があるので、ここで学んだことを生かしたデジタル作品にも挑戦してみたいです。

中学2年生
 帯刀章仁さん



毎回テーマのある学びで
 美術と触れ合う

中学1年生の時ワークショップに来ていて、教育普及スタッフの方とも仲良くなり、楽しいな、もっと絵が上手になりたいなと思っていました。母からチラシをもらってOPAM美術部に入部。中学校の美術部にも所属していますが、オーパムの方は、より学習的で深いテーマに関わることができます。活動では絵の具や墨などを使った色々な画法を学びますが、鉛筆での描画が好きです。被写体を色々な角度から見たり、展覧会で海外の昔の絵を見て技法を学んだりして、作品づくりに生かしています。木炭で描く時は消しゴムを組み合わせでグラデーションを作るのが面白かったです。

文：三浦翠

活動の中では想像力もきたえるため、色々なアプローチの学びも展開しています。
想像めぐらせ、ひろがれ作品



記憶で描く



自主制作

それぞれのアイデアで、自由に制作。



想像で描く



砕いた石から作った顔料の絵の具で描く!

OPAM ART CLUB 美術部



その道の専門家を招いて講座を行う「OPAM美術部+α」は、一般の人でも参加できる特別ワークショップ・レクチャーです。特別講師を迎える場合は貴重であるため、通常の活動(2時間)を3時間に拡大して講座を開いています。



歴史から見る日本の美術

其の一 講師:田沢裕賀 大分県立美術館館長

美術作品は、好き・嫌い・なんとなくなど、自分の眼で視ることが大切です。しかし、なぜその作品が生まれたのか、時代背景を考え歴史の眼で美術をとらえると、見方・見え方・感じ方も変わります。OPAMの田沢裕賀館長による「日本美術の楽しみ方」では、仏教伝来の頃から大正・昭和まで、美術史から美術を見ていきました。



美術でめぐる 西洋の歴史と文化

其の二 講師:萬屋健司 山口県立美術館学芸課長

「OPAM美術部+α」の2回目は、山口県立美術館の萬屋健司さんを迎えての西洋美術のお話です。萬屋さんは、デンマーク語から美術の世界へ入ったという、学芸員としては異色の経歴の持ち主。美術からみた西洋の歴史や文化を、海外の美術館の話も交えて紹介してもらいました。



難解? 現代美術と現在美術

其の三 講師:菅章 美術史家・美術評論家

過去からつながり歴史の上に成り立つ現代美術。私たちが生きているこの時代に生まれる現在美術。「OPAM美術部+α」の3回目は、美術史家で美術評論家の菅章さんに、似ているようで異なるこの2つの美術について、時代とともに変化する美術について、やさしくお話いただきました。



かわいいの魔法 ~キャラクターで学ぶ仏教美術~

其の四 講師:翁みほり 奈良国立博物館 学芸部企画課教育室研究員

仏教美術は難しいイメージを持っている人もいらっしゃるかもしれません。しかし、この講座を聞けば仏像彫刻も好きになる!最終回は、奈良国立博物館の所蔵品から生まれた5匹の動物キャラクター「ざんまいず」の生みの親、翁みほりさんに、古の都・奈良、そして奈良国立博物館の仏像彫刻を中心にお話を伺いました。参加者全員で、キャラクターを描くことにも挑戦しました。



心地よい空間に身を置くだけで幸せ

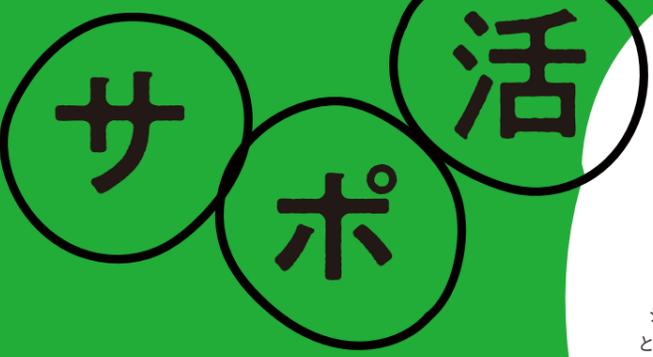
もこちゃん 小野朋子さん 教育普及サポーター 1年目

OPAMの建物自体が好きで展覧会によく足を運んでいて、建物が面白いのでくまなく歩き回っていたら、ワークショップの可愛いパンフレットを見つけました。年末年始や週末に開かれているワークショップに興味を持ったのですが、一人だけで参加しづらいのもあって、「参加できないなら開く側になればいいんだ!」と思ったのがサポーターを始めたきっかけです。また、働いているスタッフの方も素敵だなと思っていました。定期的にこの場所に来ることができれば、建物で過ごしたい気持ちやワークショップに参加したい気持ち、スタッフさんに近づきたい気持ちも叶うなと思いました。毎月の活動では、ワークショップや講座の準備をしますが、毎回新鮮な発見があってすごく豊かな時間です。次の目標はサポーターとしてワークショップに参加することです。



「ふわもこ餅」のダイダイの帽子を作るなど、ワークショップの準備にもサポーターさんが関わっています。

オーパム愛を胸に 活躍中!



サポーター活動

月1回のサポーター活動は、ワークショップの準備を中心に行っています。またワークショップで展示室に行くときの見守り隊として大活躍。教育普及の活動は、こうしたサポーターさんたちに支えられています。

サポ活の様子はこちら



教材ボックスの掃除やワークショップの片付け、道具のお手入れなど、まさに教育普及の“縁の下の力持ち”です。



子どもへの声のかけ方も変化しました

保育士の仕事をしている関係で、9年ほど前から「びじゅつかんの旅・旅たく」に参加していました。普段園で行う創作活動や絵画制作とはまた違った、五感を使った活動が印象的でした。その時に色々な講座があることを知り、子どもに還元できることがありそうだなと思って金曜講座やてんてん講座にも参加。色んなものの見方などを先生たちに教えてもらい、もう一歩踏み込んでお手伝いをしながら園の仕事にも生かしたい、そう思ってサポーター活動を始めました。ワークショップでは、美術に興味があって参加している子どもたちが自発的に楽しんでいる姿を見ると刺激になります。お正月のコマなど、ワークショップで行ったことを園の行事に取り入れることも。普段園で行う創作活動では、創作意欲にも個人差があるので、お互いが満足いくまでできるよう、声かけの仕方も工夫するようになりました。

しろさん 藤澤慈子さん 教育普及サポーター 5年目 (3期目)

何より自分が一番楽しんでます

開館記念展の時に大人を対象にした「みんなの土曜アトリエ」でふわもこを体験すると、すごく楽しかったんです。教育普及スタッフの方から「3歳児の顔になってる」と言われたほど。美術館は体を使って遊んだりワークショップがあったりという概念がなくて、「こんなに面白いことをするんだ!」と目から鱗でした。いざサポーターになると、子どもたちが喜んでるのを見るのも好きですが、一番は自分が満喫しています。私生活でも美術との接し方が変わって、美術館に行くのが楽しくなりました。歴史や美術のアカデミックな知識がなくても、面白いことを見つけたり、色んな見方を知ることができたり。展覧会の鑑賞は一列に並んだまま移動して行かないといけない、というような先入観がありましたが、気が向いたところだけ時間をかけて見ればいい、シンプルに好きとか嫌いとか、もっと自分に正直でいい。そんな感覚や美術の自由な楽しみ方が身につきました。



あやちゃん 羽田野亜矢さん 教育普及サポーター 1年目

教育普及スタッフが語る、

あ

こ

れ

れ

美術、ワークショップ

教育普及スタッフとして現場で動くスタッフ、ともちゃん、かなみん。小さい頃の美術との関わりや、普段の仕事の中で感じる思いなどを語ってもらいました。

…………… 美術や美術館との関係。

ともちゃん 小さい頃から絵を描くのは好きで、高校では美術部に入って、デッサンや油絵を描いていました。芸術系の大学へ進み、空間デザインなどを学びましたが、なんとなく自分に合っていない気がして。ものづくりがたくて、卒業後は地元の縫製会社に入社。美術に関係のある仕事やまったく違う仕事など、様々な業種を経て、オーパムでは、開館2年目から入職して以来、ずっと教育普及の部署にいますので、まる9年が経ちました。

かなみん 私は生まれは大分市ですが、すぐに父の転勤で川崎市へ。小学校1年生まで住んでいて、母が美術館が好きで、よく横浜美術館に連れて行ってくれたそうです。絵を描くのがすごく得意、というほどではありませんでしたが、図工・美術の授業や休み時間にお絵描きをするのが大好きでした。中学校では美術部に入っていました。

…………… 普段の仕事はどんなこと？

ともちゃん ワークショップに使う材料の購入や準備、当日は記録の写真を撮りながら、子どもたちの見守りを行っています。また情報コーナーの書籍の入れ替えや管理を行っていて、展覧会や教育普及の講座に関連した書籍を配架しています。今年度は開館10周年なので、過去の図録をチラシとともに開架しています。



かなみん ワークショップのチラシが出来上がると配布なども自分たちで行っています。市内の学校や公共施設などで、直接手渡しすることで会話が生まれることもあります。最

大阪芸術大学芸術学部デザイン学科卒。教育普及室に在籍して10年目を迎える。写真を撮る時はなるべく参加者の方がカメラを意識しないで自然体でいてもらえるように心がけて、制作や鑑賞に夢中になっている姿をそっと撮っています。休日は家でゆっくり過ごすことが好きですが、たまに足を伸ばして湧き水を汲みに行くことが最近のささやかな楽しみです。

初はペーパードライバーで運転に慣れなかったのですが、寒かろうか暑かろうかが自転車でもわかっていました。今では運転に自信もつき、アウトリーチの時も乗せられるだけ荷物を積んで、県内各地、どこでも行きます。

…………… この仕事、この瞬間が好き！

ともちゃん アウトリーチでいろんな学校、園に行きますが、先生から「いつも大人しいあの子が、すくすくのびのびと楽しそうに話している」という言葉を時々聞きます。積極的にワークショップへ参加していたり、集中して鑑賞している姿に、先生たちが驚いていることがあります。先生が子どもの違う一面を知ることができたり、何よりその子自身が、「こんなに楽しいことがあるんだ!」と気付ける。そんな瞬間に立ち会えるのが幸せだなと思います。

また、まる9年を教育普及の分野で過ごすと、小学生の頃からワークショップに来てくれる子が成長して高校生になり、OPAM美術部に入部してくれて、サポーターとして活躍してくれています。以前は家族に連れてきてもらっていたのに、今は一人で来ることができるよう…。ワークショップに参加していた子が大学生になって県外へ行って、帰省した時に寄ってくれることも。とても感慨深いですね。

かなみん ワークショップ中の子ども達の笑顔が大好きです。ワークショップで展示室に行く時は、子どもたちと絵を見ながら、「絵の中の動物を見つけよう」「作品に近づいてみよう、離れてみよう」とおしゃべりしながら作品を楽しみます。入職前は、美術館は技法とか美術史を知らないと楽しめないというイメージがありましたが、そういうことが分からなくても楽しむ方法はたくさんある。「美術館に遊びに行く」「美術館は楽しいところ」そんな感覚を、子どもたちが私と同じように体感してくれているのではないかと、とてもやりがいのある仕事だなと思います。

また、アウトリーチで出会った子が、休み

の日に遠方からわざわざ美術館に来てくれる時もあり、「家族にお願いして遊びに来てくれたのかな～」と、とても嬉しく感じます。

…………… 教育普及への思い。

ともちゃん ワークショップをして、子どもにすぐ何かしらの結果が出るということはないかもしれませんが、長い目で見て、美術という共通の楽しみを通じて人と人がつながっていくことを感じます。友達の輪が広がることもあるので、そのお手伝いができれば嬉しいですね。



かなみん チラシを配布しに行く時、学生時代の担任の先生に会ったり、今のOPAM美術部員の子がその学校に通っていたり。そうやって自然と人の縁が広がっていくのも、まさに教育普及だなと感じます。

…………… ワークショップに足を運ぶ方へ。

かなみん 客観的に冷静に見ても、オーパムが年間に開いているワークショップの量とダイナミックさはものすごいと思います。そんなパワフルなところもぜひ楽しんでいただけたらと思います。

ともちゃん 子ども向けだけではなく、大人向けのワークショップも充実していると思います。大人になると、つい「お勉強」という感じで気合いを入れてしまいがちですが、ぜひその場で実際に見たり聞いたりして心が動くことを、大切にしてほしいです。

文：三浦翠

ともちゃん
野上智美



かなみん
三重野奏美

早稲田大学文学部文学科教育学コース卒。前職を経て令和5年春に入職。入職前に別府のある宿に泊まった時、青木美歌さんのガラスの作品に大興奮! いざ職員になり、館内に青木美歌さんの作品があって2度目の感動。令和6年に学芸員資格取得。今は図書館司書の資格をとるべく邁進中。愛犬はトイプードル「モモちゃん」、ご飯とお薬、シャンプー担当です。

第2部

学校や園と手をつなぐ

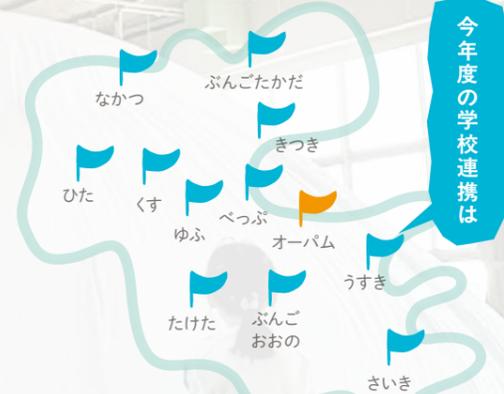
すげえ! がひろがる びじゅつかん

より多くの子どもたちに美術館へ足を運んでもらうためには、学校との連携事業が欠かせません。開館10周年記念企画展「LINKS」では大分市内の幼稚園児を対象とした来館ツアーを行い、県内の小学3年生以下を対象として、「LINKS」「きらめく日本美術」の鑑賞ツアーを開催。また、大分県教育委員会の義務教育課が行っている「ミュージアムを活用した子どもの感性育成事業」、通称「小4ミュージアムツアー」は、コレクション展を鑑賞しながら美術館に親しむことを目的に、開館2年目から現在まで続いています。どの鑑賞ツアーも5名前後のグループに分かれ、ガイドスタッフとともに展示室をめぐる予定です。

今年度の新しい取り組みとしては、美術館に来てコレクション展を鑑賞する仕組みをさらに深めた「スクールinミュージアム」を始めました。美術館と学校・園との往還型をさらに発展させ、美術館と学校で行うワークショップの中で、作品を制作。その作品を一堂に集めて美術館に展示して、コレクション作品とともに鑑賞しました。その一環として「アーティストとの出会い」「美術と音楽」という、作家やミュージシャンを招聘してのワークショップも行いました。

その他アウトリーチとして、昨年度まで行ってきた出前ワークショップを、先生の研修として実施すると、新たな課題やこれからの可能性も見えてきました。学校と連携しての事業を行うことで、子どもたちが美術や美術館に接する機会が増えています。

オーパムから東西南北どこまでも「すげえ!」を届けに会いに行く



今年度の学校連携は

学校・園と美術館を往来するワークショップ

びじゅつかんの旅

体感する
びじゅつかん
の旅

鑑賞する
びじゅつかん
の旅



えのくま幼稚園

カラフルなピンポン玉の手触りやはね方を確かめたら、ピンポン玉のシャワーを浴びてみます。たくさん手に持って投げて、次はもっとたくさんお皿に乗せて投げると、空中にカラフルな花が咲いたように見えました。



びじゅつかんの旅
ころころピンポン

「みんなの土曜アトリエ」で行っている体感ワークショップと、鑑賞ワークショップを組み合わせ、学校や園と美術館を往還するのが「びじゅつかんの旅・旅したく」です。旅したくを行うことでスタッフとの距離も近くなり、「旅」がより待ち遠しくなります。

カトリック海星幼稚園

真っ白な布がふわり、ふくらむ、自由な動きや造形を楽しめます。ふくらんだ布の上に乗ってみたり、中にもぐってみたりして身体と感覚を活性化させます。

びじゅつかんの旅
ふわもこ



びじゅつかんの旅
LINKS—大分と、世界と。

やまばと幼稚園

1枚の紙をもみ紙にして、布のように柔らかくします。細長く切って団扇であおぐと、ふわふわと空中を舞う紙の表情に園児たちも大興奮でした。

びじゅつかんの旅
ぱたふわ



びじゅつかんの旅
LINKS—大分と、世界と。

展示室で作品を見るための準備運動

「旅したく」を経て、美術館にやってきた子どもたち。オリエンテーションでアトリエに集まると、天井に動物たちがいることに気がつきます。ガラス面にも何やら楽しそうなものがいっぱい。白い壁には黄色っぽい形があり、それを両手で覆うと光り出します。それが分かると、壁だけではなく天井にもいっぱい光るシールが貼ってあるのにも気がつきます。部屋を暗くすると、一斉に光る形に大歓声が上がりました。



びじゅつかんの旅
LINKS—大分と、世界と。

(「LINKS」に訪れた園児は、13園/570名です。)



LINKS
一大分と、世界と。

ミュージアム ツアー

県内小学生招待事業

県内の小学3年生以下を対象に
開館10周年記念企画展の鑑賞ツアーを行いました。



きらめく日本美術
1300年の至宝展

作品を見る
ただそれだけを楽しむ。
—— 自然と会話が広がっていく

彫像の気持ちになってみる



視方、楽しみ方
1

しゃがんで神像・仏像と眼をあわせる。
何か語りかけられている気がしませんか？



視方、楽しみ方
2

ロープを引っ張っているのは、
速く走りたいから？
どの馬が一番速そうかな？

能面を正面から見る時、
ちよつと背伸びをしてから、
ゆつくりしゃがむ。笑っていたはずの顔から
笑顔が消えた瞬間、ドキッとします。

視方、楽しみ方
3



しゃがんでみると険しい山。
人がいる。
ジグザグに視線を動かすと、
まるで山を登って旅しているよう。

視方、楽しみ方
4



異国の船がやって来た。
髪型や着ているもの、
それに持ち物に注目してみよう。
動物はどこにいるかな？

視方、楽しみ方

展覧会はガイドスタッフさんと一緒に見ます。特に感想を言わなければいけないことは、ありません。見ることを楽しみます。しかし多くの子どもたちは、何かを聞き出さなくても自分から話し始めます。ギャラリーツアーでは、話す環境をつくるのが大切で、発言を促すではありません。

視方、楽しみ方
5



(今年度のミュージアムツアーは、「LINKS」22校/延べ912名、「きらめく日本美術」28校/延べ1635名、小4ミュージアムツアーには12校/延べ368名の小学生が参加しました。)

小4 ミュージアムツアー

オーバムでは大分県教育委員会と一緒に、県内の小学4年生を対象にコレクション展を鑑賞する「ミュージアムを活用した子どもの感性育成事業」、通称「小4ミュージアムツアー」を行っています。



ミュージアムを活用した子どもの感性育成事業

学校で制作

スクール

IN

ミュージアム

SCHOOL in MUSEUM

いつもの場所がアトリエに変身！ ふくらめ想像力

「スクールinミュージアム」は、「びじゅつかんの旅・旅したく」を発展させ、より多くの子どもたちが美術館で作品を鑑賞できるスクール・プログラムです。「学校で制作」コースでは、触る・触れる教材[Hands on Works]を持って学校・園に行き、教材を鑑賞してイメージしたことをもとに作品の制作を行いました。

Hands on Works

美術館を飛び出し、旅する教材 見て触れる作品 [Hands on Works]

触る・触れる教材[Hands on Works]は、「触ってみたいと思う素材と形態」、そして「アウトリーチに持っていくためのサイズ」をふまえ、視覚と触覚を体験する教材作品として作家に制作を依頼したものです。[Hands on Works]の中から、「スクールinミュージアム」で学校や園に持って行った作品を紹介します。



みんなのところに
持ってくよー

見る



「ガラスと水晶、キラキラ!」では、工業製品から自然物まで、ガラス質のモノを視たあとに、青木美歌さんが命のカチをテーマに作った作品を鑑賞すると、「きれい!」という歓声が上がりました。

ガラスと水晶、 キラキラ!

玖珠町立小田小学校3.4.6年生



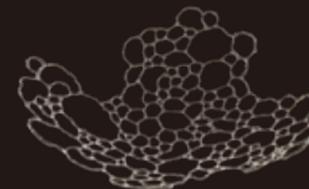
感性が光る!

水晶をベースに、ピーチグラス、ビーズ、スパンコール、石などを使って妖精を作り、青木美歌さんの作品と一緒に並べました。

これが可愛い!

青木美歌さんのガラスの作品の前に、大きさや形など、まずはそれぞれが好きなものを選んでみました。

青木美歌(1981-2022)



Mycelia



Series of seed'4

谷本めい(1991-)



アンモナイトの化石

エビ



マンタ

目に見えない命の在り方や、生命の「繋がり」を表現しています。アウトリーチでは、タネや花粉を思わせるような、手の平にのる小さな作品、増殖していくような形態を取り入れつつも軽やかで触ると壊れてしまいそうな作品、形があるようで無い水の形やその循環を思わせる作品など、透感感のあるガラス素材による作品群を持っていきました。

谷本さんは「どんな石でも彫れない石はない」と、石の特性に応じて、モチーフを決めて制作しています。《海の生き物たち》は、大分県佐伯市《アンモナイトの化石》(石灰岩)や豊後大野市《エビ》(赤鉄鉱)、日田市《クジラ》(石灰岩)、姫島村《マンタ》(黒曜石)、別府市《貝の化石》(辰砂を含む石灰岩)など9点の作品群です。

鉛筆って、すげえ！ 宇宙を描く！

臼杵市立上北小学校1-3年生



10Bから10Hまで22種類の鉛筆にびっくり。小川信治さんと妻木良三さんの作品を前に、「本当に鉛筆で描いたの？」と眼はくぎ付け。その後、5×2.2mの大画面に宇宙を描きます。太陽や月、いろいろな星、宇宙人やUFOも登場し、鉛筆は小さく、手足は真っ黒になりました。

みんなで宇宙を描いたよー



視 触覚



「目で触る」 ってどんなこと？

[Hands on Works]は触る・触れるという、触覚を感じるために、その多くが立体作品です。しかし触覚だけでなく視覚の体験も重要なため、細密描写をしている作家に、「目で触る」シリーズとして制作を依頼しました。

下からも見てみよう



「Hands on Works」 「目で触る」シリーズ



ダミアンのロンド



ロンド6



境現-chikeibon-2024



境現-gokokubon-2024

小川信治(1959-)

見慣れた風景や名画などから着想を得て、時間や空間の新しい表現をテーマに作品を制作。ヨーロッパの風景を繰り返し描き、無限連鎖を表現する〈ロンド〉シリーズのうち〈ロンド6〉は、大分県由布市の狭霧台から見える山々を作品の背景に取り込んでいます。

妻木良三(1974-)

描く前に一度、布によるインスタレーションで表現し、それを見ながら心象風景を鉛筆で描いていきますが、自分のイメージを混ぜながら描きます。大分県日田市大原八幡宮の神事「米占い」から生まれた作品が《境現-chikeibon-2024》《境現-gokokubon-2024》です。



幻獣ラビリンス

宇佐市立高家小学校6年生

佐野藍さんの作品に触れてから、3.3×3.3mの紙の真ん中にドラゴンを置き、幻獣のいる世界を描きました。最後はロウソク・ライトも灯し、雰囲気を感じました。



触れる

作品は重たい?冷たい?ツルツル?ザラザラ?「幻獣をつくろう!」のワークショップでは、佐野藍さんの作品の触り心地にみんなの目もキラキラ。「幻獣ラビリンス」では、佐野さんのニシキヘビをしっかりと両手で持ち、ドラゴンの赤ちゃんを目線を合わせました。

幻獣をつくろう!

宇佐市立高家小学校5年生



佐野藍さんの作品を見て、触った後は幻獣を作ります。材料は、紙粘土・アルミ箔・色紙・毛糸・プラスチックカップ・ボタンなど、いろいろです。6年生が描いた幻獣ラビリンスに加え、みんなで照らしました。

幻獣の世界を
灯してみよう!



材料はいろいろ!



佐野藍(1989-)



アルピオンの民-水辺-

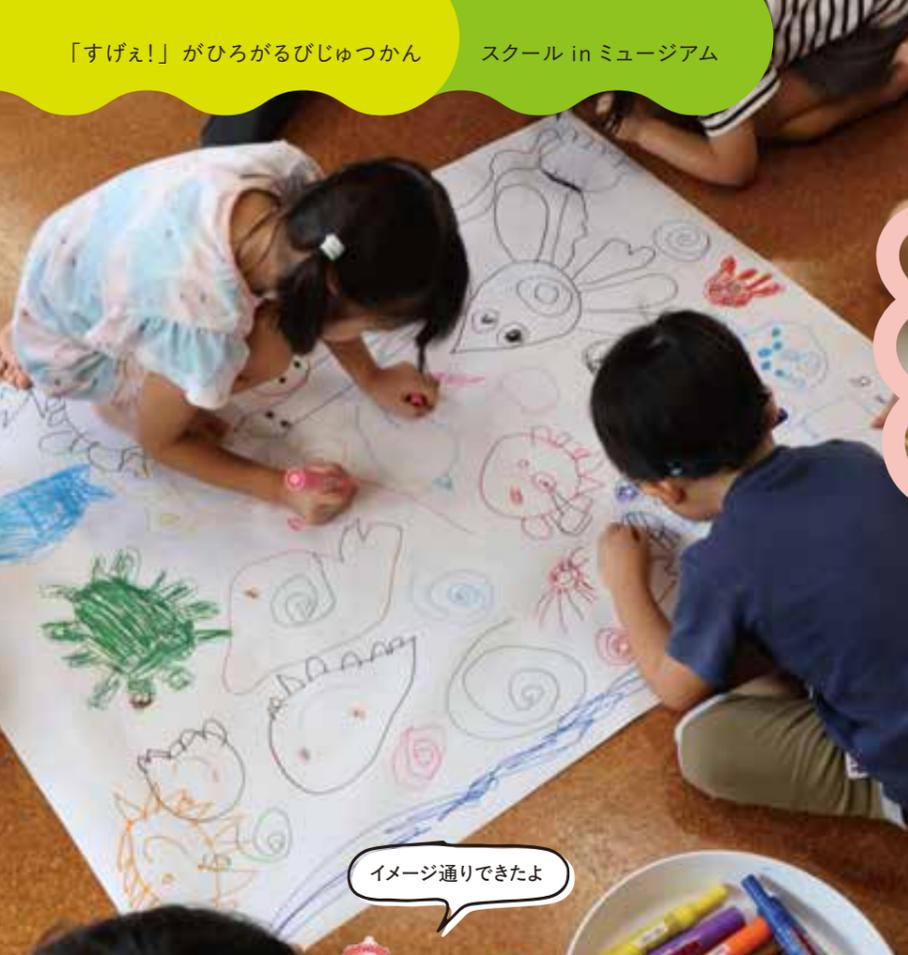
Python023

《パイソン》シリーズは様々な色・模様の大石で彫られています。大分県佐伯市の石灰岩で彫られた《Python022》は全体が白っぽく、イタリアの大石で彫られた《Python023》はマーブル模様が混ざっています。《アルピオンの民-水辺-》は《幻獣》シリーズで、同県豊後大野市の石灰岩からドラゴンの赤ちゃんを制作しています。

市川平(1965-)

市川さんは、自作の移動光源装置を使って造形作品や建物を照らし、見たことのないような動きをする光と影の表情をつくる特殊照明作家です。市川さんの作品に、コンクリート・ミキサー車をベースにした、公道を走るプラネタリウム「マジカル・ミキサー・プロジェクト」があります。そこでOPAMのために、持ち運び可能で、懐中電灯で照らすこともできる《ミラーボール仕様のマジカル・ミキサー》を制作してもらいました。





イメージ通りできたよ



作る

作品を見て、触ったあとは、思い思いに体と心を動かし、作品を制作していきます。「海の生き物をつくろう」では紙粘土に絵の具を混ぜて、タコ・イカ・エイやチンアナゴたちを作ったり、「石ってすげえ! 宝石モザイク」では、色とりどりの石の粒からモザイク作品を作ったりしました。



石って、すげえ! 宝石モザイク

九重町立南山田小学校1.2年生



石は磨けば宝石、砕くと顔料になり、彫刻も作れます。大分県の石や絵の具になる石、鉱物・宝石見本を見たあと、谷本めいさん、中井川由季さん、井上雅之さん、佐野藍さん、橋本真之さんの作品の重さや触り心地も確かめました。



キラキラの星うまれたよ

器もりもり 彩り小皿

みずほ保育園(由布市)



時松辰夫さん、小松誠さん、小鹿田焼の器や様々な豆皿の重さや感触を体感して、みんなも自分のお皿を作りました。形は丸かったり、動物の形をしていたり、色も模様もカラフルです。完成したら紙工作の料理を作って盛り付けしました。



海の生き物をつくろう

両川こども園(宇佐市)

大分県内の様々な石から彫られた谷本めいさんの作品《海の生き物たち》を触り、みんなも海の生き物を作ります。海にはどんな生き物がいるかな? 思い思いに描いてイメージを膨らませていきます。



星空ポケット

八千代保育園(中津市)



特殊照明作家・市川平さんのキラキラ、びかびか光る作品を写真パネルで紹介し、星が生まれるような作品《ミラーボール仕様のマジカル・ミキサー》も見ました。みんなは黒い紙に針で穴をあけ、ポケット状にした星空ポケットを制作。中をのぞくと、いろいろな色の星がびかびか、キラキラと輝きました。



Hands on Works

中井川由季(1960-)

中井川さんの作品は、花や実、タネや枝などをイメージさせます。森にいる命の形。時には生き物に見え、夜中にひっそりと動き出しそうなユーモラスな形態もあります。2点、3点を重ねる作品もあり、視覚と同時に触覚を刺激します。



切片群

橋本真之(1947-)

銅の板を叩いて絞り、球体や袋状の形にしてつないだり、組み合わせたりして、形が増殖される金属造形を制作しています。《凝集力-上昇》はアウトリーチに持つていくには大きいため、制作中に出る銅板の切れ端から作られた《切片群》シリーズを持つて行きました。



凝集力-上昇



時松辰夫(1937-2021)

時松さんの作る器やカトラリーは県産材を使い、木の色や木目は一つとして同じものはありません。手に取ることで自然の風合いをより強く感じられます。イチイやヤマザクラのカトラリー、ケヤキの小皿、マツのボウルなど様々です。



小松誠(1943-)

小松さんがデザインする陶磁器は、温かみがあり暮らしにユーモアを加えます。代表作の《クリンクル》シリーズは、紙のもつ偶然的シワやヒダの表情をデザイン化しているため、一見やわらかそうに見える陶磁器です。



井上雅之(1957-)

井上さんは近年、板状の粘土をブロックのように組み合わせてパーツを複雑な形に構成した、生命感漂う作品を制作しています。釉薬を独自に調合して亀裂を生じさせるディテールで、作品を見た人が自由な想像で鑑賞します。



はじめまして
Meeting an Artist

アーティストとの出会い

制作
学校で

佐野藍

出会ったみんな

- 大分県立芸術緑丘高等学校 1.3年生
- 大分県立芸術緑丘高等学校 2年生
- 由布市立庄内中学校 2年生



アーティスト

彫刻家
佐野藍
SANO AI

1989年、東京生まれ。東京藝術大学大学院 美術研究科彫刻専攻修了。幼いころ茂みの奥で見つけたニホントカゲの存在に心を奪われ、以来、爬虫類やドラゴンなど「幻の存在」である幻獣の絵を描く。大理石の持つ神秘的で強い存在感と幻想的な雰囲気に惹かれ、脳の中に漂うもの、幻の存在を自分の目の前に強く具現化させてみたいと、神話や伝説に登場する幻獣やドラゴンをモチーフに制作を行う。



カプセルトイ
《幻獣ベイビーズ》も
勢揃い!



初めは佐野さんの作品を写真パネルで見て、[Hands on Works]より《Python022》《Python023》《アルビオンの民-水辺-》を触ってみます。「可愛い!」「どうやって作るの?」などの声が上がっていました。

つづく→

美術館で
過ごす

本郷真也

出会ったみんな

- 玖珠町立くす若草小中学校 小学部2-6年生
- 佐伯市立直川小学校 5.6年生
- 府内学園 府内高等学校 2.3年生



アーティスト

鐵鍛金家
本郷真也
HONGO SHINYA

1984年、千葉県生まれ。東京藝術大学大学院 美術研究科鍛金専攻修了。千葉県野田市のアトリエにて鍛金作家として活動中。鐵の錆びていく特性に、生命の摂理を重ね、素材と対話しながら槌をふるい、形をつくっていく工程の中で生命の本質を表出させていくことを意識して制作を行う。第55回現代工芸美術展 現代工芸賞など多数受賞。



美術館に鐵鍛金家の本郷真也さんを迎えました。まずはアトリエでスライドレクチャー。普段の制作の様子や、作品についての話を聴きました。本郷さんが大切にしているのは生命の摂理や循環。それらを鐵の特性に重ね合わせ、生命がやがて大地にかえっていく尊さや儚さを表現するため、たとえば腐敗しかけているカボチャや柿、つぶれかけた鐵の空き缶などの作品の写真も、見せてくれました。鳥の作品は、レントゲンを撮るとお腹の中のゴミまで映るほど作り込んでおり、超絶技巧の作品の数々は、手で作ったとは思えない作品ばかりでした。

つづく→



この1年で妊娠、出産を経験した佐野さん。個展を控えていた中で、時に安静にしながら、家族と相談しながら、作品づくりと向き合ってきたエピソードも教えてくださいました。



佐野さんとオンラインでつながり、どんな場所で制作しているか、どんな道具を使っているかなど、具体的な制作の話をお聞きしました。生活の延長線上に作品づくりがあることや、環境に制限があったとしても「どうしたらいいのか、工夫して環境をつくっていくことが大切」と話してくれました。曲線の重なりによる生き物の温かみや、石の気持ちになって作りたい形を想像すること、身近にいそうなところなど、幻獣を作る時に大事にしていることも教えてくださいました。

その後「制作にはどのくらい時間がかかりますか?」という質問には「作品のサイズ、具体的に彫る時間、アイデアを出したり、試行錯誤したりする時間など、作品によってかなり異なります」と丁寧に答えていただきました。

ドラコキオン
特徴: オオカミのような頭と、ハチドリのような羽毛



エジプトの魚
特徴: 願い事は3つまで



グリフォン
特徴: 上半身が鷹で下半身がライオン



ぱー
特徴: 寝ることが好き



幻獣をつくろう!



幻獣をテーマに作品づくり!



幻獣をテーマに滑石を彫っていきます。まずは道具や滑石に慣れるところからスタート。

ミミ
特徴: 大きな耳! の妖精さん



ミロシー
特徴: 山奥にたずんでいる



スネイクニャンコ
特徴: 2足歩行移動&お腹で移動

1枚の鉄の板を叩いて作品をつくっている話を聞きます。子どもたちは実際に触ってその硬さを確かめ「どうやって変形していくの?」と本郷さんに質問していました。



1500度の炎で鉄を熱していきます



我らは鉄の職人だ!

鉄をねじる・たたく

回す速さで形も変わる!



たたいて、伸ばします



仕上げはブラシでみがきます

鉄棒を熱した後、ねじる加減で作品の形は変わります。「思ったより柔らかかった!」「すげー!」「もっと個性を出したい」など子どもも先生も感想は様々。ねじった鉄棒はみんな個性的で、一つとして同じものはありません。



個性バクハツ!

マイルド系

爬虫類系

アルファベット系

「鉄は柔らかいし、形を変えられることを体感してほしい」と本郷さん。屋外に出て、LPガスに酸素ボンベを加え、炎の温度を1500度にして鉄棒を熱すると、赤く変色しました。すると子どもの力でも、鉄棒をねじることができました。

鈴木広志 / 江川良子

宮河内幼稚園(大分市)
宇佐市立長峰小学校 5.6年生

美術と音楽

Meeting an Artist

アーティストとの出会い

+ 音楽

制作 学校で

「スクールinミュージアム アーティストとの出会い」に音楽の要素をプラスしたコースです。ミュージシャンの鈴木広志さんは、狩野永徳《上杉本洛中洛外図屏風》を見て、そのイメージから作曲しています。その曲を江川良子さんと2人で演奏しました。みんなは音に耳を傾け、音に合わせて筆を動かします。時間が経つにつれ、曲調が変化すると、子どもたちの動きはだんだんとダイナミックになり、最後は全身が絵筆になりました。

「スクールinミュージアム ミュージアム・コンサート」では、このみんなが描いた絵の前で、即興演奏が奏でられます。



鈴木広志

1979年埼玉県生まれ。サクソフォン奏者・作曲家。クラシック音楽で培った技術を基にポップスやジャズ、ワールドミュージックまで自由自在に行き来した活動を行う。大橋トリオ、椎名林檎、くるり、ゴンチチ、小野リサ、清水靖晃、大友良英、林正樹らと共演を重ねる。作曲家としては国宝《上杉本洛中洛外図屏風》をはじめ、アーティストやダンサー、ショーや展覧会とのコラボレーションを重ねる。NHK連続テレビ小説「あまちゃん」、大河ドラマ「いだてん」ではテーマ曲 劇中音楽を演奏。東京藝術大学卒業。



江川良子

1978年千葉県生まれ。12歳よりサクソフォンを始める。ソロ、オーケストラ、吹奏楽、映画やCMレコーディングの分野での活動の他、様々なアンサンブルに参加し、日本国内各地での公演・海外公演・CDリリースなども行っている。また、デュオリサイタルを企画、プロデュースし、アレンジや委嘱作品を含めたサクソフォンの新しいレパートリーの開拓にも力を注いでいる。東京藝術大学卒業、同大学院修了。



美術館で過ごす

スクール
↑
IN
ミュージアム
SCHOOL in MUSEUM

日常から離れてカラフルな景色に出会う

「スクールinミュージアム」の「美術館で過ごす」コースで行っているワークショップでは、思い切り身体を動かすことや、学校では制作できないことを行いました。また、コレクション展の鑑賞やアーティストとの出会いも行い、普段では体験できない時間になりました。



富士見ヶ丘あすなろこども園
(大分市)

ぼわんぼわんをつくらう!

体感ワークショップ「ぼわんぼわん」では、2種類の「ぼわんぼわん」を体感。その後、自分たちの「ぼわんぼわん」をカッティングシートと油性マジックで作ります。そして3Fのコレクション展示室に行きました。

鑑賞



じょうとうこども園
(大分市)

星空ワンダーランド

アトリエを暗くすると、天井に見えるのは天の川。みんなも自分の星を作り、ブラックライトで光らせました。市川平さんの《ミラーボール仕様のマジカル・ミキサー》を鑑賞し、展示室では上村松園《月蝕の宵》を鑑賞しました。

鑑賞



ももぞのこども園
(大分市)

魔法のじゅうたんをつくらう!

障子紙を揉み紙にしてから、団扇でおいでパタパタ、ふわふわ浮かせるワークショップ「ばたふわ」を行い、魔法のじゅうたんを制作。3Fのコレクション展示室では竹工芸の作品を視ました。

鑑賞



地域美術館 体験講座

at パトリア日田

ヨーロッパ美術紀行

—大分県立美術館コレクション—

オーパムのコレクション展示が 地域の文化施設へ

美術館の作品を地域に持っていく「地域美術館」に、その地域に住む子どもたちを招待しているのが「地域美術館体験講座」です。今年度は、地域美術館atパトリア日田「ヨーロッパ美術紀行—大分県立美術館コレクション—」を日田市民文化会館「パトリア日田」で開催し、日田市内の主に小学5年生を対象に実施。見る・楽しむポイントを教育普及が、個々の作品解説を展覧会担当学芸員が行いました。



先生のための ワークショップ



先生自身が視て感じる
心の動きが、やがて気づきに

身体や素材、そして空間など、美術を取り巻く要素や環境の広さを感じてほしい。そんな思いから学校・園でワークショップを行い、その様子を先生に見てもらいました。そこで先生自身の心が躍り、面白と感じたことや楽しかったことは、子どもたちに伝わります。先生自らが真剣に参加し、身体と感覚を刺激した時間でした。

みんなの展覧会

スクール IN ミュージアム SCHOOL in MUSEUM

「学校で制作」「美術館で過ごす」のワークショップで作った作品を一堂に美術館へ集めて、展示しました。作った子どもたちは全員が来館。「これ、欲しい!」「きれい」「私も作りたい!」と、みんな大興奮です。コレクション展Ⅱも鑑賞しました。

ピンクのひらひらが可愛い

カラフルな龍に見える!

苦労して自信作ができた!

石は柔らかかったけど彫るのは難しかった!

やきそばかな?

熱くすると柔らかくなるんだね

宝石のようにキラキラだね。

ブラックホールみたい

自分たちの作品が
オーパムに大集合!
胸を弾ませ鑑賞タイム



「すげえ！」がひろがるびじゅつかん



スクール
IN
ミュージアム
美術と音楽



鈴木広志さんが狩野永徳《上杉本洛中洛外図屏風》を見て作曲した音楽を聴きながら描いたダイナミックな絵(10×3.3m)は両サイドに飾られています。その前で、鈴木広志さんと江川良子さんの即興演奏が始まりました。はじめは子どもたちもじっくり耳を傾けていましたが、いつの間にか、手足はリズムをとって動いています。自分の描いた作品から新しい音楽が生まれるなんて、驚きでした。



白杵市立上北小学校にはサプライズ。鉛筆で真っ黒に描かれた宇宙の作品からも、鈴木さん、江川さんは音楽を奏でてくれました。

参加してくれたみんな
宮河内幼稚園(大分市)
宇佐市立長峰小学校
白杵市立上北小学校

人と人が対話して 心が動くことから “面白い”が始まる

OPAM教育普及では2016年より、ミュージシャンの鈴木広志氏と一緒に、美術と音楽を掛け合わせたワークショップを行ってきました。ある時は小学生から一般までを対象に、ある時は中学校でのアウトリーチやダンサーとのコラボレーションも行い、その数、延べ20回。それらのワークショップはどのように生まれて来たのか？教育普及室室長・榎本氏と鈴木氏に、なにかを作りたくなる気持ち、人とつながることで生まれる世界を語ってもらいました。

文：三浦翠

2人の出会いは榎本邸

榎本 最初に会ったのは2010年の冬くらいかな。私がアーティストの荒川修作+マドリン・ギンズ企画設計の三鷹天命反転住宅という、ちょっと個性的な家に住んで、広志さんがうちに来たんだよね。経緯としては、目黒区にあるパーシモンホールの企画担当から、子ども向けのワークショップの話聞いて、子どもたちと一緒に絵を描いて、それに対して広志さんが作曲して、洛中洛外図屏風と合わせてコンサートをする内容で、講師をお願いされた。でも「絵を見て曲を作るっていうけどーからできるものなの？既にあるフレーズとか音楽のストックを、絵に照らし合わせて持ってくるんじゃないの？」そう思って。そして「それ、すごく面白いから本人に直接聞いてみよう」となって。うちに遊びに来る日を設けて広志さんに聞いてみたら「分からない」って言ったんですよ。それで、あ、すごく正直な人だなと。「そんなことはない、一から音楽を生み出すんですよ」みたいな答えを想定してた(笑)。これは人として面白い。一緒に何かしたら絶対に面白い!と思ったのが最初ですね。

鈴木 それまでは絵画に作曲するっていうのはほとんどしたことがなかったんです。その前年に米沢の上杉博物館に所蔵されている上杉本洛中洛外図屏風に作曲する企画があって、それが目黒でのワークショップ企画につながったんですね。米沢での体験も楽しかったし、僕自体

初めてのワークショップだし、何の先入観もなく「面白い人がいるから」と、榎本さんに会いにいった。

ワークショップでは、最終的には僕たちが屏風に作曲した曲を、子どもたちが聴きながら絵を描くイメージだったのですが、そのための導入として、曲を分解して、描く技法も限定して…と面白い発想がどんどん出てきて。

榎本 音楽を聴いていきなり絵を描いてしまうと、聴いた人が自分の心の中にある心象風景や、何か別のものを出してきて描くんだろうと。以前、触覚を描くワークショップで、目を閉じて一輪の花を触って描いた時も、花畑を思い出してその風景を描いた人がいました。だから音楽を描くってどういうことだろう？そう考えた時、音を分解してみようかなと。まずは単音で絵を描いてみる。音と一緒に墨汁を置いてみる。トントントン、トン、トンというリズムで点を置いてみる。それがもっと複雑になったらどうだろう。そんな風に、リズムやメロディを加えて少しずつ色を足したり紙質を変えてみたりした。私も何ができるか、探りながらなんです。広志さんと一緒に組み立てられればいいなと思ってた。以前レーモンド・マリー・シェーファーという作曲家で音楽の教育をしている人の本を読んだ時、五線譜じゃなくて、音を楽しむという考えにすごく感銘を受けて、そんな話も広志さんとしてた。

だからワークショップをして、プログラムが変わることもあるし、本気で進めなが

何が起るかわからないけど、
絶対面白いことが起る。
榎本さんはそれを思わせる
魔法を持っている

鈴木広志

煎茶にハマリ、ライブ先の土地土地でお茶屋さんを訪ねる。店の人と話したり、生産者の顔が見えたり。自宅でその風景を思い浮かべながらいれる一杯が美味。

ら考えてる。子どもの反応を見て変えちゃうから。ライブ感覚なのかもしれない。

鈴木 榎本さんとワークショップをしていると、子どもたちも今日はものすごいワクワクすることが起るって感じている。何が起るかわからないけど、絶対みんなと面白いこと作れるよ、そう思えること自体が、すごいマジックというか。榎本さんの進め方じゃないとできない面白いことをやろうとして、というのが子どもたちは一瞬でわかるから、ついてくる。これをしよう、飛ばしちゃおう、ここは時間かけてしようとか、直前の打ち合わせやその場の感覚で決

人と密にコミュニケーションを
取って生まれてくるものは、
自分も面白いし大切。
それが生きてるってことだと思う

榎本寿紀

休日や作品づくりが一番いいのは散歩。ぼーっと空を眺めて、アリが歩いているのを見る、タネを拾う。気になるものを愛でるだけでも十分楽しい。

めていくけど、教育普及のチームワークできている。

今回のワークショップでは、今まで榎本さんと一緒にしてきた中で、初めて作曲をしないで来たんですよ。これまでは、子どもたちが描いた作品に対して事前に作曲して来たり、途中まで作曲しておいて仕上げだけ会場です、という形だったのですが、でも絵を見て即興で演奏するというのは、何も準備をしないのとはまた別で、会場づくり、気持ちをつくること、前日に食べる物、話すことなども全部準備になる。作曲をして来るより緊張感があるというのは結構面白くて。今回は子どもたちと一緒に

絵を描いた時のことを思い出して演奏し、もう一曲は、目の前の絵だけを見て演奏したりしました。

音楽の道、美術の道

鈴木 親がギターやベースをしていて家にたくさん楽器があったんです。小4の時ギターにハマって音楽が超好きになって。美術館で言う話でもないですが、写生大会も好きでけっこう絵も得意で、何度も県知事賞をいただいたりしました。でもギターに出会って、その後の美術作品が全部ギターになっちゃった。益子に行って益子焼の絵を描いてもギターがあって、鳴子に行ってこけしの絵を描いたらこけしがギター持ってる(笑)。もうこれは音楽の道に進むしかないなと。

榎本 私は絵を描くのも物を作るのも好きだったけど、姉が通ってた近所の造形教室に付いていったのが最初。小2の時だったかな。先生がとてもユニークな方で、カラフルなファッションをしていました。そしてリキテックスというアクリル絵の具で絵を描くと言われて、水彩絵の具じゃない横文字に、もう「格好いい!」と。

鈴木 榎本さんの子どもの頃の勝手なイメージですけど、例えば今日みたいに「一列に並んで行きましょ」というと、気になるものがあつたら、そこに行っちゃうみたいな。

榎本 そうあつたらいいよね。そういう子に人間的な魅力を感じるし、羨ましい。

鈴木 カバンの中が全部枯葉だったり。

榎本 むしろそれね、20歳超えてから(笑)。どこかに行くと、これはワークショップに使えるかもしれない、作品になるかもしれないと常に何か探してる。

鈴木 「この骨もらえますか?」とか飲食店で常に厨房を狙ってますからね。

榎本 ボーンブラックやアイボリーブラックという黒い絵の具の名前は、材料が由来。骨や象牙を蒸し焼きにして炭酸化させたもので作られるから、飲食店にある魚や猪の骨が魅力的で。

本格的に美術の道に進もうと思ったのは、高校1年生の時なんです。武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科を出て、教育

普及に携わったのは目黒区美術館から。大学院を24歳で出て目黒でワークショップを手伝ったのが最初で、すごく面白かった。目黒の学芸員がとても素敵な人たちで、その背中を見たのも大きいです。

人と人が出会って人間になる

榎本 人にとって大切なのは、その人の生活、体験、記憶、感覚の4つ。生活、つまり日常がすごく大切で、そこでのモノやコトとの出会い、体験ですね。暮らしや体験を、どういう風に自分の中にためていくかが記憶で、そこに知識も含まれる。そのためには身体と感覚が必要。三鷹天命反転住宅を作った荒川修作先生もそう言っている。

美術について考えると、「教える」とか「導く」という言葉は、少しニュアンスが違う。世の中、面白いことはいっぱいあるし、好き・嫌い、見たい・見たくないなど取捨選択は個人がするもの。教育普及は「これ、面白いから見てみたら?作ってみたら?」というコミュニケーションだと思う。私が影響を受けた荒川先生も、人がコミュニケーションをとる大切さを美術作品や建築の中で行っていたと思うし、その中で一番大切なものを突き詰めていくと、今の形になるのかなと。人とのコミュニケーションから生まれてくるものは自分も面白いし大切だし、それが生きてるってこと。広志さんと一緒に分からないものを作り出していくのが楽しいし、彼と一緒にないと絶対にできない。これはワークショップという名の即興パフォーマンス?子どもたちも絵を視てわーっと言ったり、音を聴いておーっと言ったり、ワークショップを続けているのは、そういうことなのかなと思う。

鈴木 今日子ども達とのギャラリーツアーの中で、この絵は何々という絵の具が使用されていて光沢があります。終わり、ではなくて、榎本さんは「この月の周りを視てみて、キラキラしてない?」「ちょっと体を動かして視てみて」って。そしたら子ども達は息をのんで、それぞれ体を揺らして視ている。むしろみんなの眼がキラキラしてきて、僕はめっちゃ感動していました。

榎本 伝えて終わると知識になって、ふむふむって確認して終わりなんだけど、「こうするとどう?」「本当だ」っていうコミュニケーションのほうが、体験として相手と自分の心に残るんじゃないかな。それが大切だと思うんですよね。

おわりに

榎本寿紀

「自分の視点を持つ」というテーマを掲げて活動してきたこの10年。解説ではなく、作品を丁寧に見るのがOPAM教育普及の鑑賞である。美術作品を見るという行為は、ノン・ボキャブラリー・コミュニケーションといえる。もともと歴史的に識字力の乏しい時代、物語や教訓的なことを文字ではなく、絵で伝えていたため、「見ればわかる」のが当たり前であった。時代とともに美術作品の意味合いが変わり、宗教のための絵画から、光の変化や色彩、そして情報や社会が作品のテーマとなってくる。これらを同一してわかって=理解しようとする、多くの知識が必要となり、美術への苦手意識が強くなる。

作品が、いつ・どこで・誰がつくり、どんな価値があるか、そうした歴史的価値や位置づけは大切ではある。しかし展示を見るためのオリエンテーション、あるいは来館前の事前授業でそうした話をすると、展示室での作品鑑賞は、話に聞いた作品の確認で終わることが多い。しかし作品を丁寧に見ていくと、様々なコトが見えてくる。ある時は自分の気持ちかドキドキ、ワクワクしてくるかも知れない。作家の意図したことを感じられるかも知れない。だから情報ではなく、目の前にあるモノを目の前にあるモノとして楽しむ鑑賞を行っている。

美術作品はノン・ボキャブラリー・コミュニケーションであると同時に、感じるものである。さらに絵を見る時は、好奇心を持って見るのと同時に、想像力で見る必要がある。これは能動的な行為だ。そしてわかるとは、理解するのではなく、共感することである。このためには、自分の眼で見る事が大切なのだが、残念なことに、いつしか自分の眼でモノを見る機会が少なくなり、情報として知ることが多くなってしまったのかも知れない。

さらに作品を鑑賞する時間は見る人が決める。そして展覧会は1度行ったから、それで終わりではない。同じ作品でも、見る人が、その日のコンディションや気持ちで、感じ方は異なってくる。「LINKS」で展示された南聡《日一日》2020年は、植物の中に多くの昆虫が潜んでいる。鳥の目

線の先にいる昆虫、さらにその昆虫の目線を次々と追っていくと、最後は昆虫と自分の目線が合う。これはすぐに発見できたわけではなく、連日のギャラリーツアーで、子どもたちと作品と一緒に見て来た中での発見だ。日々、作品から新しい発見をする。これはすべての作品、そして展覧会に言えるだろう。作品を1度見たから、それで終わりではない。見るたびに見方が広がる。楽しさが広がる。同じ作品でも日々発見する楽しさを知り、何度も美術館に足を運んでほしい。

美術館は、作品を見るのが好きな人が行く場所である。ということは、美術館は必要ない、美術館は行かなくてもいいと思っている人もいるということだ。さらに子どもは作品を見てもわからない、美術館は数居の高いところだと決めつけている人もいるだろう。だから教育普及はまだまだやるべきことが多い。より多くの人に美術館に来てほしい。作品を見て楽しんでほしい。しかしそれは大きなお世話、おせっかいなのだろうか？

年末年始には開館10周年記念のワークショップとして、「みんなの土曜アトリエ」と「びじゅつかんの旅じたく」で行っている体感ワークショップの中から、特に人気の高いワークショップを日替わりで7日間連続、アトリウムで行った。題して「カラダと感覚で遊ぶ 7DAY' S」。2Fのアトリエでは30名でいっぱいになる広さだが、アトリウムでは70名と、多くの参加者を受け入れられる。開館前から多くの参加者は集まり、毎回10時過ぎには開始時間を待たなくとも定員を超えてしまい、最終日はスペースを拡張して120名を上回る参加者となった。参加者には、よくワークショップに参加する家族もいる。今回は展示室に行かず身体を動かすワークショップのため、詳細は分からずとも楽しそうと感じ、とにかく美術館に行ってみようと思った人達は多かったようだ。

これをきっかけに、美術館に来てほしい。自分にとって美術館は関係のない場所と思っている人達に対して、ワークショップは

目の前にあるモノを、目の前にあるモノとして楽しむ。日常の中の美術に気づくとき

ほんのささやかなきっかけを作る場所に過ぎない。一方で、イベント的に集客さえすればいいというわけではないのはもちろんだ。だからこそ、内容は身体と感覚を刺激するものや、身近なモノからの再発見やなかなか触ることのない特別な素材を使うワークショップまで、多岐にわたる。目に映るモノは全て美術につながる可能性がある。自身の眼で見ることは何よりも大切であり、日常にある美術に気がついたら、毎日が楽しくなる。見るのが楽しいと思つた先には、美術館を訪れた時には、遊びとして、見るのが楽しいものとして鑑賞することにつながる。美術館に来たのなら、一緒に展示室で作品を見て楽しみたい。

さて、ここでモノを「みる」ことについて、整理したいことがある。「みる」という字を漢字で表記すると「見る」「観る」「診る」などがあるが、美術作品や日常にある美術を能動的に「みる」時には、「視る」と、「みる」意味を強調したい。

ファーストミュージアム体験事業の時に6年生だった女の子が来春より高校の美術の教師になるという話を聞いた。開館当初、毎週のように「みんなの土曜アトリエ」に参加していた園児は中学生に、小学生は高校生・大学生になった。幼稚園・保育園の時から毎週末は必ず来ていた子どもたちは、コロナ禍の時期は来なくなった。しかしコロナ禍が落ち着きを取り戻したころ、彼らは中学生になり、そして弟や妹と一緒に、あるいは金曜講座やOPAM美術部に参加してくる。中高生が対象のOPAM美術部は、部員は少ないものの、日常の中で作品を少しでも作りたいとやってくる。中には美術大学への進学希望や合格の知らせも届いている。

「みんなの土曜アトリエ」に参加した子どもたちは、作品を視る楽しさを知った。これから先10年後、彼らは大人になり、その時は自らの意思で、美術館を訪れてほしい。その時は、一人で作品に向き合うのか、それとも誰かが隣にいるのか。美術館を身近な存在として、日常の中に取り入れてほしい。「視る」ことを楽しむ場所として。

INDEX 実績一覧

一般向けワークショップ&レクチャー

●朝のおとなの1010講座

場所:OPAM 2Fアトリエ
対象:中学生から一般

視るは楽しい教材ボックス

[素材いろいろ (Hands on Works)]
日時:2025年5月18日(日)10:10~11:10
参加者:3名

[眼で触る (Hands on Works)]
日時:2025年5月25日(日)10:10~11:10
参加者:5名

[らんらんサフラン・黄色のパワー]
日時:2025年9月28日(日)10:10~11:10
参加者:7名

[鉛筆って、すげえ! 小川信治と妻木良三]
日時:2025年10月26日(日)10:10~11:10
参加者:9名

[青の色材 植物編]
日時:2025年11月22日(土)10:10~11:10
参加者:5名

[赤の色材 植物編]
日時:2025年12月6日(土)10:10~11:10
参加者:9名

[虫からつくる絵の具 キング・クリムゾンと藤脂色]
日時:2025年12月21日(日)10:10~11:10
参加者:12名

美術からみた文化

[絵画の中の三角形]
日時:2025年6月22日(日)10:10~11:10
参加者:17名

[バラバラ・カクカク・アニメーション]
日時:2025年8月24日(日)10:10~11:10
参加者:10名

[ちょっとだけ、ジュラシックワールド]
日時:2025年9月7日(日)10:10~11:10
参加者:10名

[布から視る絵画と彫刻]
日時:2025年10月5日(日)10:10~11:10
参加者:6名

素材と技術

[木版画]
日時:2025年4月6日(日)10:10~11:10
参加者:7名

[銅版画]
日時:2025年4月20日(日)10:10~11:10
参加者:7名

[染織模様のつくり方]
日時:2025年6月29日(日)10:10~11:10
参加者:17名

[機織り模様]
日時:2025年7月6日(日)10:10~11:10
参加者:18名

[糸づくり 綿・絹・羊]
日時:2025年7月20日(日)10:10~11:10
参加者:14名

●夜のおとなの金曜講座

場所:OPAM 2Fアトリエ
対象:中学生から一般

視るは楽しい教材ボックス

[触ると触れる (Hands on Works)]
日時:2025年5月2日(金)18:30~19:30
参加者:11名

[危うさを伴う素材と形 (Hands on Works)]
日時:2025年5月9日(金)18:30~19:30
参加者:7名

[並べてモザイク]
日時:2025年5月23日(金)18:30~19:30
参加者:11名

[NUNOのNUNO]
日時:2025年7月11日(金)18:30~19:30
参加者:14名

[NUNOのNUNO・折り紙布]
日時:2025年10月3日(金)18:30~19:30
参加者:5名

[毒にも薬にも絵の具にも]
日時:2025年10月31日(金)18:30~19:30
参加者:11名

[磨けば宝石、砕けば顔料~石の魅力]
日時:2025年11月7日(金)18:30~19:30
参加者:10名

[赤の色材 鉱物編]
日時:2025年12月5日(金)18:30~19:30
参加者:9名

[金(ゴールド)の誘惑]
日時:2025年12月19日(金)18:30~19:30
参加者:27名

[炭酸カルシウムを視る]
日時:2026年1月9日(金)18:30~19:30
参加者:15名

大分県から絵の具をつくる

[顔料と展色材]
日時:2025年11月21日(金)18:30~19:30
参加者:14名

美術からみた文化

[音を視る]
日時:2025年4月4日(金)18:30~19:30
参加者:15名

[家イエ・色イエローサバイバル編]
日時:2025年4月11日(金)18:30~19:30
参加者:17名

[土ものがたり-縄文から古墳時代まで]
日時:2025年4月25日(金)18:30~19:30
参加者:16名

[ザ・チェアーズ]
日時:2025年5月16日(金)18:30~19:30
参加者:12名

[美仏界限-飛鳥・奈良時代編]
日時:2025年5月30日(金)18:30~19:30
参加者:22名

[大分たてものコレクション]
日時:2025年6月6日(金)18:30~19:30
参加者:16名

[ザ・タペストリー]
日時:2025年6月13日(金)18:30~19:30
参加者:26名

[ひ・み・つ-平安時代編]
日時:2025年6月20日(金)18:30~19:30
参加者:25名

[鳥の目・虫の目・私の"眼"]
日時:2025年6月27日(金)18:30~19:30
参加者:14名

[路上の芸術-水編]
日時:2025年7月4日(金)18:30~19:30
参加者:17名

[ゴウリキジャパン-鎌倉時代編]
日時:2025年7月18日(金)18:30~19:30
参加者:12名

[ザ・グラフィックII]
日時:2025年8月22日(金)18:30~19:30
参加者:12名

[鏡ヨ鏡。光と反射]
日時:2025年9月12日(金)18:30~19:30
参加者:15名

[ガーデン沼-室町時代編]
日時:2025年9月19日(金)18:30~19:30
参加者:15名

[大分たてものコレクションIV]
日時:2025年10月10日(金)18:30~19:30
参加者:12名

[俺の城-桃山時代編]
日時:2025年10月24日(金)18:30~19:30
参加者:15名

[深掘り!アートプロジェクトII-お祭り編]
日時:2025年11月14日(金)18:30~19:30
参加者:16名

[三者三様、時々共演-江戸時代編]
日時:2025年11月28日(金)18:30~19:30
参加者:12名

[大分たてものコレクションV]
日時:2025年12月12日(金)18:30~19:30
参加者:18名

素材と技術

[フェルトとニードル]
日時:2025年7月25日(金)18:30~19:30
参加者:10名
[酸化と錆び]
日時:2025年9月26日(金)18:30~19:30
参加者:9名

[OPAMを視る]
日時:2025年10月17日(金)18:30~19:30
参加者:12名

番外編

[大人だって遊びたい!音が見える時]
日時:2026年4月18日(金)18:30~19:30
参加者:11名

●どなたでもワークショップアトリエ・ミュージアム みんなでつくろっ!

場所:OPAM 2Fアトリエ
対象:どなたでも

[カラフル・ミックス~コマをつくろっ!]
日時:2025年4月26日(土)10:30~12:30
参加者:43名

日時:2025年4月26日(土)14:00~16:00
参加者:15名

[ゆらゆらシーソー]
日時:2025年4月27日(日)10:30~12:30
参加者:23名
日時:2025年4月27日(日)14:00~16:00
参加者:16名

[ごちそうプレート]
日時:2025年4月29日(火・祝)10:30~12:30
参加者:75名
日時:2025年4月29日(火・祝)14:00~16:00
参加者:32名

[ミュージアム・スコープ]
日時:2025年5月3日(土・祝)10:30~12:30
参加者:44名
日時:2025年5月3日(土・祝)14:00~16:00
参加者:32名

[あなぎーワールド]
日時:2025年5月4日(日・祝)10:30~12:30
参加者:32名
日時:2025年5月4日(日・祝)14:00~16:00
参加者:23名

[蹴鞠三重奏]
日時:2025年5月5日(月・祝)10:30~12:30
参加者:53名
日時:2025年5月5日(月・祝)14:00~16:00
参加者:43名

[とんとんステンシル]
日時:2025年5月6日(火・振休)10:30~12:30
参加者:74名
日時:2025年5月6日(火・振休)14:00~16:00
参加者:56名

[このゆび、と~まれっ!]
日時:2025年6月1日(日)10:30~12:30
参加者:25名
日時:2025年6月1日(日)14:00~16:00
参加者:44名

[くるしゃらネックレス]
日時:2025年6月7日(土)10:30~12:30
参加者:37名
日時:2025年6月7日(土)14:00~16:00
参加者:28名

[アルけんけん]
日時:2025年6月14日(土)10:30~12:30
参加者:9名
日時:2025年6月14日(土)14:00~16:00
参加者:26名

[ちろりん・びろりん 連続紙模様]
日時:2025年6月15日(日)10:30~12:30
参加者:25名
日時:2025年6月15日(日)14:00~16:00
参加者:24名

[糸を刷る?]
日時:2025年6月21日(土)10:30~12:30
参加者:32名
日時:2025年6月21日(土)14:00~16:00
参加者:30名

INDEX 実績一覧

【クラゲストラップ】
日時：2025年6月28日(土)10:30～12:30
参加者：25名
日時：2025年6月28日(土)14:00～16:00
参加者：18名

【ふれふれ がんばれじぶん】
日時：2025年9月15日(月・祝)10:30～12:30
参加者：18名
日時：2025年9月15日(月・祝)14:00～16:00
参加者：5名

【見たて石】
日時：2025年9月21日(日)10:30～12:30
参加者：24名
日時：2025年9月21日(日)14:00～16:00
参加者：9名

【水のカケラ】
日時：2025年9月23日(火・祝)10:30～12:30
参加者：22名
日時：2025年9月23日(火・祝)14:00～16:00
参加者：11名

【回転デコレーション】
日時：2025年10月13日(月)10:30～12:30
参加者：24名
日時：2025年10月13日(月)14:00～16:00
参加者：16名

【フォトフレームづくり】
日時：2025年11月2日(日)10:30～12:30
参加者：15名
日時：2025年11月2日(日)14:00～16:00
参加者：12名

【たたんで、ひらいて、きって、ポン!】
日時：2025年11月3日(月・祝)10:30～12:30
参加者：15名
日時：2025年11月3日(月・祝)14:00～16:00
参加者：26名

【墨絵本】
日時：2025年11月29日(土)10:30～12:30
参加者：26名
日時：2025年11月29日(土)14:00～16:00
参加者：12名

【アニマル雑技団～空中サーカス編】
日時：2025年12月13日(土)10:30～12:30
参加者：16名
日時：2025年12月13日(土)14:00～16:00
参加者：23名

【ベタベタ覚悟のクレヨン・リング】
日時：2025年12月20日(土)10:30～12:30
参加者：32名
日時：2025年12月20日(土)14:00～16:00
参加者：15名

【ばたばたバタフライ】
日時：2026年1月12日(月・祝)10:30～12:30
参加者：47名
日時：2026年1月12日(月・祝)14:00～16:00
参加者：32名

【おぼけのテッチター】
日時：2026年1月17日(土)10:30～12:30
参加者：35名
日時：2026年1月17日(土)14:00～16:00
参加者：37名

【虹色どんぐり】
日時：2026年2月7日(土)10:30～12:30
日時：2026年2月7日(土)14:00～16:00

【カオカオ・ミュージアム】
日時：2026年2月11日(水・祝)10:30～12:30
日時：2026年2月11日(水・祝)14:00～16:00

【浮き出て、しおりちゃん♪】
日時：2026年2月14日(土)10:30～12:30
日時：2026年2月14日(土)14:00～16:00

【ボタン・ゴマ】
日時：2026年2月15日(日)10:30～12:30
日時：2026年2月15日(日)14:00～16:00

【真夜中の虹】
日時：2026年2月21日(土)10:30～12:30
日時：2026年2月21日(土)14:00～16:00

【カラフル・サウンド】
日時：2026年2月23日(月・祝)10:30～12:30
日時：2026年2月23日(月・祝)14:00～16:00

【星空ポケット】
日時：2026年2月28日(土)10:30～12:30
参加者：2026年2月28日(土)14:00～16:00

【今日は横むぜ!①】
日時：2026年3月7日(土)10:30～12:30
日時：2026年3月7日(土)14:00～16:00

【今日は横むぜ!②】
日時：2026年3月14日(土)10:30～12:30
日時：2026年3月14日(土)14:00～16:00

【今日は横むぜ!③】
日時：2026年3月15日(日)10:30～12:30
日時：2026年3月15日(日)14:00～16:00

【今日は横むぜ!④】
日時：2026年3月20日(金・祝)10:30～12:30
日時：2026年3月20日(金・祝)14:00～16:00

【今日は横むぜ!⑤】
日時：2026年3月21日(土)10:30～12:30
日時：2026年3月21日(土)14:00～16:00

【今日は横むぜ!⑥】
日時：2026年3月22日(日)10:30～12:30
日時：2026年3月22日(日)14:00～16:00

【今日は横むぜ!⑦】
日時：2026年3月28日(土)10:30～12:30
日時：2026年3月28日(土)14:00～16:00

ワークショップ春夏秋冬

●みんなの土曜アトリエ

場所：OPAM 2Fアトリエ、3Fコレクション展示室

【ふわもこ】
日時：2025年9月6日(土)10:30～12:00
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 31名
日時：2025年9月6日(土)14:00～15:30
参加者：小学生から一般 28名

【虹の刃をつくろう!】
日時：2025年9月13日(土)10:30～12:00
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 31名
日時：2025年9月13日(土)14:00～15:30
参加者：小学生から一般 15名

【ぼわんぼわん】
日時：2025年9月27日(土)10:30～12:00
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 15名
日時：2025年9月27日(土)14:00～15:30
参加者：小学生から一般 29名

【ぼわんぼわんロング】
日時：2025年10月4日(土)10:30～12:00
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 15名
日時：2025年10月4日(土)14:00～15:30
参加者：小学生から一般 30名

【超ぼわんぼわん】
日時：2025年10月11日(土)10:30～12:00
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 20名
日時：2025年10月11日(土)14:00～15:30
参加者：小学生から一般 30名

【ばたふわじゅうたん・魔法の絨毯】
日時：2025年10月18日(土)10:30～12:00
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 3名
日時：2025年10月18日(土)14:00～15:30
参加者：小学生から一般 14名

【ばたふわドラゴン】
日時：2025年10月25日(土)10:30～12:00
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 9名
日時：2025年10月25日(土)14:00～15:30
参加者：小学生から一般 17名

【垂れる・流れる・動く色】
日時：2025年11月1日(土)10:30～12:00
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 23名
日時：2025年11月1日(土)14:00～15:30
参加者：小学生から一般 21名

【絵の具まみれ】
日時：2025年11月8日(土)10:30～12:00
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 31名
日時：2025年11月8日(土)14:00～15:30
参加者：小学生から一般 29名

特別ワークショップ

●春のワークショップ

【身近なモノから音をつくる】
日時：2025年4月5日(土)10:30～13:30
参加者：4歳からの未就学児とその家族 9名

【空き缶ドラム】
日時：2025年4月12日(土)10:30～13:30
参加者：小学生 17名

【音を描こう!】
日時：2025年4月13日(日)10:30～15:30
参加者：小学4年生から高校生 8名

【音のステンシル】
日時：2025年4月19日(土)10:30～15:30
参加者：小学6年生から一般 9名

【触ることから始めよう】
日時：2025年5月10日(土)10:30～13:30
参加者：4歳からの未就学児とその家族 25名

【目隠しへの挑戦～覚醒する触覚】
日時：2025年5月11日(日)10:30～13:30
参加者：小学生 13名

【木の色、樹の模様】
日時：2025年5月17日(土)10:30～15:30
参加者：小学6年生から一般 13名

【重い、冷たい、石の魅力】
日時：2025年5月24日(土)10:30～15:30
参加者：小学4年生から一般 8名

【ファミリーワークショップ ガラスと水晶、キラキラ!】
日時：2025年5月31日(土)10:30～15:30
参加者：ファミリー 18名

●夏のワークショップ

【ピカピカ、キラキラの水】
日時：2025年7月5日(土)10:30～13:30
参加者：4歳からの未就学児とその家族 32名

【触る・見る 水の顔】
日時：2025年7月12日(土)10:30～13:30
参加者：小中学生 12名

【びしょぬれワークショップ】
日時：2025年7月19日(土)10:30～13:30
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 24名

【びしょぬれワークショップ】
日時：2025年7月21日(月・祝)10:30～13:30
参加者：ファミリー 22名

【びしょぬれワークショップ】
日時：2025年7月26日(土)10:30～13:30
参加者：小中学生 20名

【星空ワンダーランド】
日時：2025年8月2日(土)10:30～13:30
参加者：4歳から小学3年生までとその保護者 33名

【ハンブーギャラクシー】
日時：2025年8月9日(土)～2025年8月11日(月・祝)全3日間 10:30～15:30
参加者：小中学生 21名

【スライド・コラージュ】
日時：2025年8月16日(土)～2025年8月17日(日)全2日間 10:30～15:30
参加者：小学4年生から一般 14名

【宇宙へ飛び出せ!キラキラの星めぐり】
日時：2025年8月23日(土)10:30～13:30
参加者：ファミリー 28名

【冬

●冬のワークショップ

【いのちがいっぱい。絵の具にまみれて、青くなる】
日時：2025年11月15日(土)10:30～13:30
参加者：4歳からの未就学児とその保護者 19名

【大分県から絵の具をつくる】
日時：2025年11月16日(日)10:30～15:30
参加者：小学4年生から一般 9名

【心が躍る、アクションペインティング】
日時：2025年11月23日(日・祝)10:30～13:30
参加者：小中学生 13名

【ガラスを彩る】
日時：2025年11月24日(月・振休)10:30～13:30
参加者：ファミリー 27名

【アカ・アオ・キイロのインスタレーション】
日時：2025年11月30日(日)10:30～15:30
参加者：小学4年生から一般 2名

●年末年始のワークショップ

【ピカばた】
日時：2025年12月29日(月)10:30～11:30
参加者：どなたでも 73名

【カラフル・インスタレーション】
日時：2025年12月30日(火)10:30～11:30
参加者：どなたでも 70名

【ころころピンポン】
日時：2025年12月31日(水)10:30～11:30
参加者：どなたでも 70名

【ふわもこ鏡餅】
日時：2026年1月1日(木・祝)10:30～11:30
参加者：どなたでも 71名

【超ぼわんぼわん】
日時：2026年1月2日(金)10:30～11:30
参加者：どなたでも 70名

【くしゃくしゃポイポイ】
日時：2026年1月3日(土)10:30～11:30
参加者：どなたでも 70名

【ぼわんぼわんロング】
日時：2026年1月4日(日)10:30～11:30
参加者：どなたでも 122名

教育普及活動展示

【夏の特別ワークショップ 2025「水を見る」「光と影」】
日時：2025年8月29日(金)～2025年8月31日(日)開館時間

【ザ・炭酸カルシウム】
日時：2025年12月25日(木)～2026年1月8日(木)開館時間

【スクールinミュージアム「みんなの展覧会」】
日時：2026年1月21日(水)～2026年2月1日(日)開館時間

次世代育成講座

●OPAM美術部

場所：OPAM 1F展示室A、2Fアトリエ・体験学習室 3F展示室B・コレクション展示室
対象：中学生・高校生

【LINKS 鑑賞】
日時：2025年5月31日(土)16:00～17:00
参加者：10名

【オリエンテーション】
日時：2025年6月22日(日)13:30～15:30
参加者：15名

【木炭デッサン】
日時：2025年7月20日(日)13:30～15:30
参加者：14名

【鉛筆デッサン】
日時：2025年7月27日(日)13:30～15:30
参加者：14名

【想定デッサン】
日時：2025年8月24日(日)13:30～15:30
参加者：11名

【恐竜を視て描く・記憶で描く・想像で描く】
日時：2025年9月7日(日)13:30～15:30
参加者：12名

【個人制作】
日時：2025年10月5日(日)13:30～15:30
参加者：12名

【個人制作】
日時：2025年11月29日(土)14:00～16:00
参加者：6名

【個人制作】
日時：2025年12月13日(土)14:00～16:00
参加者：5名

【個人制作】
日時：2025年12月20日(土)14:00～16:00
参加者：5名

【きらめく日本美術 鑑賞】
日時：2025年12月29日(月)13:30～15:30
参加者：8名

【個人制作】
日時：2026年1月10日(土)13:30～15:30
参加者：4名

【個人制作】
日時：2026年1月18日(日)13:30～15:30
参加者：4名

【個人制作】
日時：2026年2月11日(水・祝)14:00～16:00

【個人制作】
日時：2026年3月1日(日)13:30～15:30

●OPAM美術部 番外編(自主活動)

場所：OPAM2F体験学習室
日時：2025年4月29日(火)14:00～16:00
参加者：7名

日時：2025年5月4日(日・祝)14:00～16:00
参加者：6名

日時：2025年5月5日(月・祝)14:00～16:00
参加者：4名

日時：2025年5月6日(火・祝)14:00～16:00
参加者：4名

日時：2025年5月11日(日)14:00～16:00
参加者：5名

日時：2025年7月25日(金)14:00～16:00
参加者：4名

日時：2025年8月18日(月)14:00～16:00
参加者：4名

日時：2025年9月15日(月)14:00～16:00
参加者：4名

日時：2025年9月23日(火・祝)14:00～16:00
参加者：3名

日時：2025年10月13日(月)14:00～16:00
参加者：8名

日時：2025年11月2日(日)14:00～16:00
参加者：3名

日時：2025年11月3日(月・祝)14:00～16:00
参加者：2名

日時：2026年1月12日(月・祝)14:00～16:00
参加者：2名

日時：2026年1月17日(土)14:00～16:00
参加者：4名

●OPAM美術部+α

場所：OPAM 2Fアトリエ
対象：OPAM美術部員、中学生から一般

【歴史から見る日本の美術】
日時：2025年9月20日(土)13:30～16:30
参加者：26名
講師：田沢裕賀(大分県立美術館 館長)

【美術でめぐる西洋の歴史と文化】
日時：2025年10月19日(日)13:30～16:30
参加者：30名
講師：萬屋健司(山口県立美術館 学芸課長)

【難解? 現代美術と現在美術】
日時：2025年11月9日(日)13:30～16:30
参加者：30名
講師：菅章(美術史家・美術評論家)

【かわいいの魔法～キャラクターで学ぶ仏教美術】
日時：2025年12月7日(日)13:30～16:30
参加者：30名
講師：翁みほり(奈良国立博物館 学芸部企画課 教室室研究員)

スクールプログラム

びじゅつかんの旅じたく

●びじゅつかんの旅じたく

学校法人上東学園 認定こども園 もりまち幼稚園5歳児 40名
【ふわもこ】
日時：2025年4月16日(水)10:00～11:20

学校法人ひまわり学園 認定こども園 ひまわり幼稚園5歳児 65名
【ころころピンポン】
日時：2025年4月17日(木)10:10～11:30

学校法人後藤学園 認定こども園 えのくま幼稚園5歳児 56名
【ころころピンポン】
日時：2025年4月18日(金)10:00～11:30

学校法人大分カトリック学園 カトリック坂ノ市幼稚園5歳児 21名
【ばたふわ】
日時：2025年4月21日(月)10:00～11:30

学校法人得丸学園 宮河内幼稚園5歳児 32名
【ばたふわ】
日時：2025年4月22日(火)10:00～11:30

学校法人大分カトリック学園 認定こども園 カトリック海星幼稚園5歳児 30名
【ふわもこ】
日時：2025年4月23日(水)10:00～11:30

学校法人 ルナ幼稚園5歳児 39名
【ばたふわ】
日時：2025年4月24日(木)10:00～10:40

学校法人 ルナ幼稚園5歳児 39名
【ばたふわ】
日時：2025年4月24日(木)10:50～11:30

学校法人三信学園 やまばと幼稚園5歳児 41名
【ばたふわ】
日時：2025年4月25日(金)10:00～11:10

学校法人渕野学園 富士見が丘こども園5歳児 21名
【ころころピンポン】
日時：2025年5月20日(火)9:30～10:50

学校法人平松学園 千代町幼稚園5歳児 32名
【ふわもこ】
日時：2025年6月10日(火)10:00～11:30

びじゅつかんの旅

●「LINKS一大分と、世界と。」

場所：OPAM1F展示室A 2Fアトリエ、3Fコレクション展示室

学校法人上東学園 もりまち幼稚園5歳 41名
【一緒に視る】
日時：2025年4月30日(水)10:00～12:00

学校法人大津学園 幼保連携型認定こども園みどり幼稚園5歳 39名
【一緒に視る】
日時：2025年5月1日(木)10:00～12:00

大分市立吉野小学校1～3年生 49名
【一緒に視る】
日時：2025年5月15日(木)10:00～11:30

由布市立東庄内小学校1～3年生 31名
【一緒に視る】
日時：2025年5月16日(金)10:00～12:00

大分市立賀来小学校2年生 57名
【一緒に視る】
日時：2025年5月16日(金)13:00～14:30

学校法人ルナ幼稚園 ルナ幼稚園5歳児 77名
【一緒に視る】
日時：2025年5月19日(月)10:00～12:00

佐伯市立鶴岡小学校3年生 56名
【一緒に視る】
日時：2025年5月20日(火)10:00～11:30

佐伯市立鶴岡小学校3年生 27名
【一緒に視る】
日時：2025年5月20日(火)13:00～14:30

大分市立城南小学校 特別支援学級1～6年生 12名
【一緒に視る】
日時：2025年5月21日(水)10:00～11:10

INDEX 実績一覧

豊後高田市立戴星学園1〜3年生　16名
[一緒に視る]
日時:2025年5月27日(火)10:00〜12:00

豊後高田市立草池小学校2〜6年生　9名
[一緒に視る]
日時:2025年5月27日(火)10:00〜12:00

中津市立三郷小学校2〜3年生　16名
[一緒に視る]
日時:2025年5月27日(火)10:30〜12:00

大分市立神崎小学校1〜4年生　17名
[一緒に視る]
日時:2025年5月27日(火)13:00〜15:00

学校法人湖野学園 富士見が丘こども園5歳児　21名
[一緒に視る]
日時:2025年5月28日(水)10:00〜11:30

杵築市立八坂小学校2〜3年生　42名
[一緒に視る]
日時:2025年5月28日(水)10:00〜12:00

杵築市立北杵築小学校1〜6年生　33名
[一緒に視る]
日時:2025年5月29日(木)10:00〜12:00

国東市立国見小学校2〜3年生　19名
[一緒に視る]
日時:2025年5月30日(金)10:20〜12:00

中津市立大幡小学校3年生　59名
[一緒に視る]
日時:2025年5月30日(金)10:00〜12:00

宇佐市立南院内小学校1・5年生　2名
[一緒に視る]
日時:2025年6月2日(月)10:00〜11:50

学校法人ひまわり学園
認定こども園ひまわり明野幼稚園5歳児　76名
[一緒に視る]
日時:2025年6月2日(月)10:30〜12:00

日田市立三芳小学校3年生　39名
[一緒に視る]
日時:2025年6月3日(火)10:00〜12:00

学校法人得丸学園 宮河内幼稚園5歳児　32名
[一緒に視る]
日時:2025年6月4日(水)10:30〜12:30

中津市立鶴居小学校3年生　74名
[一緒に視る]
日時:2025年6月5日(木)10:00〜12:00

学校法人別府サレジオ学院 大分明星幼稚園5歳児　45名
[一緒に視る]
日時:2025年6月6日(金)10:20〜11:30

別府市立東山小学校1〜6年生　40名
[一緒に視る]
日時:2025年6月6日(金)13:00〜15:00

中津市立大幡小学校3年生　59名
[一緒に視る]
日時:2025年6月9日(月)10:00〜12:00

学校法人大分カトリック学園
カトリック坂ノ市幼稚園5歳児　21名
[一緒に視る]
日時:2025年6月10日(火)10:00〜11:30

豊後高田市立河内小学校1〜6年生　27名
[一緒に視る]
日時:2025年6月10日(火)10:00〜11:40

学校法人平松学園 千代町幼稚園5歳児　33名
[一緒に視る]
日時:2025年6月11日(水)10:00〜11:00

日田市立高瀬小学校3年生　31名
[一緒に視る]
日時:2025年6月11日(水)10:00〜12:00

学校法人ひまわり学園 認定こども園
ひまわり幼稚園5歳児　66名
[一緒に視る]
日時:2025年6月12日(木)10:30〜12:00

学校法人大分カトリック学園 認定こども園
認定こども園カトリック明野幼稚園5歳児　31名
[一緒に視る]
日時:2025年6月13日(金)10:20〜12:00

宇佐市立天津小学校2・3年生　23名
[一緒に視る]
日時:2025年6月13日(金)10:30〜12:10

大分市立賀来小学校1年生　68名
[一緒に視る]
日時:2025年6月13日(金)13:00〜14:30

学校法人道徳学園 のだ山幼稚園5歳児　74名
[一緒に視る]
日時:2025年6月16日(月)10:30〜11:40

中津市立林小学校1〜3年生　25名
[一緒に視る]
日時:2025年6月17日(火)10:00〜12:00
中津市立深水小学校1・3年生　3名
[一緒に視る]

日時:2025年6月17日(火)10:00〜12:00
学校法人大分愛隣学園 愛隣幼稚園5歳児　38名
[一緒に視る]

日時:2025年6月17日(火)10:10〜11:30
日田市立光岡小学校3年生　67名
[一緒に視る]

日時:2025年6月18日(水)10:00〜12:00
豊後高田市立呉崎小学校1〜6年生　34名
[一緒に視る]

日時:2025年6月19日(木)10:00〜12:00
学校法人三信学園 やまばと幼稚園5歳児　42名
[一緒に視る]

日時:2025年6月19日(木)10:45〜12:00
学校法人後藤学園 認定こども園
えのくま幼稚園5歳児　63名
[一緒に視る]

日時:2025年6月20日(金)10:10〜11:40
大分市立大道小学校3年生　119名
[一緒に視る]

日時:2025年6月20日(金)13:00〜14:45

●「きらめく日本美術　1300年の至宝展」

場所:OPAM2Fアトリエ
3F展示室B、コレクション展示室

豊後高田市立高田小学校3年生　65名
[一緒に視る]
日時:2025年11月25日(火)10:00〜12:00

由布市立扶間小学校4年生　64名
[一緒に視る]
日時:2025年2025年11月25日(火)13:00〜15:00

中津市立和田小学校2〜3年生　55名
[一緒に視る]

日時:2025年11月26日(水)10:00〜12:00

中津市立如水小学校3年生　45名
[一緒に視る]

日時:2025年11月27日(木)10:00〜12:00

大分市立下郡小学校2年生　115名
[一緒に視る]

日時:2025年11月28日(金)10:00〜12:00

中津市立今津小学校2〜5年生　8名
[一緒に視る]

日時:2025年11月28日(金)10:00〜12:00
別府市立鶴見小学校4年生　77名
[一緒に視る]

日時:2025年11月28日(金)13:00〜15:00
別府市立亀川小学校2年生　45名
[一緒に視る]

日時:2025年12月1日(月)10:00〜12:00

日田市立桂林小学校4年生　33名
[一緒に視る]

日時:2025年12月2日(火)10:00〜12:00
宇佐市立西馬城小学校1〜6年生　10名
[一緒に視る]

日時:2025年12月4日(木)10:00〜12:00
豊後高田市立真玉小学校2年生　21名
[一緒に視る]

日時:2025年12月4日(木)10:00〜12:00

由布市立扶間小学校4年生　34名
[一緒に視る]

日時:2025年12月4日(木)13:00〜14:30
日田市立光岡小学校1年生　78名
[一緒に視る]
日時:2025年12月8日(月)10:00〜12:00

日出町立豊岡小学校3年生　53名
[一緒に視る]
日時:2025年12月9日(火)10:00〜12:00

宇佐市立長峰小学校3〜4年生　14名
[一緒に視る]
日時:2025年12月9日(火)10:00〜12:00

別府市立緑丘小学校4年生　40名
[一緒に視る]
日時:2025年12月10日(水)10:00〜12:00

佐伯市立上堅田小学校3年生　39名
[一緒に視る]
日時:2025年12月10日(水)10:00〜12:00

豊後大野市小中一貫教育校千歳小中学校
小学部4年生　12名
[一緒に視る]
日時:2025年12月11日(木)10:00〜12:00

大分市立賀来小学校3年生　77名
[一緒に視る]
日時:2025年12月12日(金)10:00〜11:15

宇佐市立津房小学校1〜6年生　22名
[一緒に視る]
日時:2025年12月15日(月)10:00〜12:00

日田市立光岡小学校4年生　63名
[一緒に視る]
日時:2025年12月15日(月)10:00〜12:00

宇佐市立柳ヶ浦小学校3年生　39名
[一緒に視る]
日時:2025年12月16日(火)10:00〜12:00

中津市立和田小学校4年生　14名
[一緒に視る]
日時:2025年12月16日(火)10:00〜12:00

中津市立小楠小学校4年生　78名
[一緒に視る]
日時:2025年12月17日(水)10:00〜12:00

宇佐市立柳ヶ浦小学校2年生　25名
[一緒に視る]
日時:2025年12月18日(木)10:00〜12:00

大分市立明野東小学校4年生　47名
[一緒に視る]
日時:2025年12月18日(木)10:00〜12:00

日出町立豊岡小学校2年生　56名
[一緒に視る]
日時:2025年12月19日(金)10:00〜12:00

大分市立小佐井小学校3年生　64名
[一緒に視る]
日時:2025年12月19日(金)13:00〜14:30

宇佐市立和間小学校1〜3年生　31名
[一緒に視る]

日時:2025年12月23日(火)10:00〜12:00
佐伯市立上堅田小学校1・2年生　63名
[一緒に視る]

日時:2025年12月23日(火)10:00〜12:00

ガイド研修

●[LINKSガイド研修]

日時:2025年4月28日(月)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　40名

日時:2025年4月28日(月)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　24名

日時:2025年5月10日(土)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　28名

日時:2025年5月25日(日)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　26名

日時:2025年5月26日(月)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　25名

日時:2025年5月28日(水)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　17名

日時:2025年11月24日(月)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　26名

●「きらめく日本美術　ガイド研修」

日時:2025年11月26日(水)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　21名

日時:2025年12月2日(火)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　20名

●[コレクション展ガイド研修]

日時:2026年1月21日(水)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　23名

日時:2026年1月22日(木)14:00〜16:00
大分県立美術館ガイドスタッフ　23名

美術館で過ごす〜鑑賞から表現まで

●美術とSTEAM

社会福祉法人あすなろ会
富士見が丘あすなろこども園5歳児　17名
[ぼわんぼわんをつくろう!]
日時:2025年9月30日(火)10:00〜12:00

社会福祉法人若葉会 ももぞのこども園5歳児　31名
[魔法のじゅうたんをつくろう!]
日時:2025年10月15日(水)10:00〜12:00

学校法人大分カトリック学園 認定こども園
カトリック鶴崎幼稚園5歳児　29名
[コロボックス]
日時:2025年10月22日(水)10:00〜11:30

社会福祉法人明治福祉会 桜町こども園5歳児　22名
[ゆらゆらシーソー　スペシャル]
日時:2025年10月29日(水)10:00〜11:30

社会福祉法人ステラガーデン
じょうとうこども園5歳児　27名
[星空ワンダーランド]
日時:2025年11月7日(金)10:00〜12:00

●アーティストとの出会い

玖珠町くす若草
小中学校小学部2〜6年生　13名
[アーティストとの出会い　本郷 真也]
日時:2025年12月2日(火)11:00〜13:00

佐伯市立直川小学校5・6年生　11名
[アーティストとの出会い　本郷 真也]
日時:2025年12月2日(火)13:50〜15:20

学校法人府内学園
府内高等学校2・3年生　8名
[アーティストとの出会い　本郷 真也]
日時:2025年12月3日(水)10:00〜12:00

学校で制作〜鑑賞から表現

●触る・触れる[Hands on Works]

社会福祉法人産土会 みずほ保育園4・5歳児　14名
[器もりもり、彩り小皿]
日時:2025年9月8日(月)9:30〜11:20

九重町立南山田小学校1・2年生　14名
[石って、すげえ!　宝石モザイク]
日時:2025年9月10日(水)10:35〜12:10

社会福祉法人光明寺福祉会
両川こども園4・5歳児　19名
[海の生き物をつくろう]
日時:2025年9月12日(金)10:00〜11:30

宇佐市立高家小学校6年生　7名
[幻獣ラビリンズ]
日時:2025年9月25日(木)10:40〜12:10

宇佐市立高家小学校5年生　19名
[幻獣をつくろう!]
日時:2025年9月25日(木)13:40〜15:40

玖珠町立小田小学校3・4・6年生　4名
[ガラスと水晶、キラッキラ!]
日時:2025年9月29日(月)9:30〜11:30

社会福祉法人若草会
しらかば保育園5歳児　21名
[見立て石]
日時:2025年10月17日(金)9:30〜11:00

中津市立八千代保育園4・5歳児　17名
[星空ポケット]
日時:2025年10月27日(月)9:30〜11:30

臼杵市立上北小学校1〜3年生　14名
[鉛筆って、すげえ!宇宙を描く!]
日時:2025年10月28日(火)13:30〜15:05

別府市立中央保育所4・5歳児　14名
[虹色サンゴ]
日時:2025年11月6日(木)9:30〜11:30

大分県立盲学校小学部1・3・6年生　5名
[粘土をつくる・粘土でつくる]
日時:2025年11月6日(木)10:30〜12:00

●アーティストとの出会い

大分県立芸術緑丘高等学校1年生　41名
[アーティストとの出会い　佐野 藍]
日時:2025年12月23日(火)8:40〜10:30

大分県立芸術緑丘高等学校2年生　40名
[アーティストとの出会い　佐野 藍]
日時:2025年12月23日(火)13:15〜15:15

由布市立庄内中学校2年生　32名
[アーティストとの出会い　佐野 藍]
日時:2025年12月24日(水)8:40〜10:30

●美術と音楽

学校法人得丸学園 宮河内幼稚園5歳児　30名
[美術と音楽　鈴木広志 / 江川良子]
日時:2025年11月17日(月)10:30〜12:00

宇佐市立長峰小学校5・6年生　21名
[美術と音楽　鈴木広志 / 江川良子]
日時:2025年11月18日(火)10:40〜12:15

スクール in ミュージアム

●展覧会と鑑賞

別府市立石垣小学校4年生　59名
日時:2025年11月26日(水)10:00〜12:00

大分市立松岡小学校4年生　69名
日時:2025年12月1日(月)10:00〜12:00

大分市立松岡小学校4年生　64名
日時:2025年12月1日(月)13:00〜15:00

日出町立豊岡小学校4年生　56名
日時:2025年12月11日(木)10:00〜12:00

大分県立盲学校小学部1・3・6年生　5名
[一緒に視る]
日時:2026年1月16日(金)10:00〜11:15

社会福祉法人若葉会 ももぞのこども園5歳児　31名
[一緒に視る]

日時:2026年1月21日(水)10:00〜12:00

由布市立庄内中学校2年生　36名
[一緒に視る]

日時:2026年1月21日(水)10:00〜11:30

別府市立中央保育所4・5歳児　19名
[一緒に視る]

日時:2026年1月22日(木)10:00〜11:30

九重町立南山田小学校1・2年生　14名
[一緒に視る]

日時:2026年1月22日(木)10:00〜11:30

学校法人大分カトリック学園 認定こども園
カトリック鶴崎幼稚園5歳児　30名
[一緒に視る]

日時:2026年1月23日(金)10:00〜11:30

佐伯市立直川小学校5・6年生　16名
[一緒に視る]

日時:2026年1月23日(金)10:00〜12:00

学校法人府内学園 府内高等学校2・3年生　5名
[一緒に視る]

日時:2026年1月23日(金)13:00〜15:00

社会福祉法人あすなろ会
富士見ヶ丘あすなろこども園5歳児　17名
[一緒に視る]
日時:2026年1月26日(月)10:00〜12:00

玖珠町立小田小学校3・4・6年生　4名
[一緒に視る]

日時:2026年1月26日(月)10:00〜12:00

社会福祉法人産土会 みずほ保育園4・5歳児　14名
[一緒に視る]

日時:2026年1月27日(火)10:00〜11:40

社会福祉法人光明寺福祉会幼保連携型
認定こども園 両川こども園4・5歳児　19名
[一緒に視る]

日時:2026年1月27日(火)10:00〜12:00

中津市立八千代保育園4・5歳児　17名
[一緒に視る]
日時:2026年1月28日(水)10:00〜12:00

宇佐市立高家小学校5・6年生　27名
[一緒に視る]
日時:2026年1月29日(木)13:10〜15:10

玖珠町立くす若草小中学校小学部2〜6年生　12名
[一緒に視る]
日時:2026年1月29日(木)12:30〜14:00

社会福祉法人ステラガーデン じょうとうこども園5歳児　29名
[一緒に視る]
日時:2026年1月30日(金)10:00〜12:00

社会福祉法人若草会しらかば保育園5歳児　22名
[一緒に視る]
日時:2026年1月30日(金)10:00〜11:15

社会福祉法人明治福祉会 桜町こども園5歳児　23名
[一緒に視る]
日時:2026年1月30日(金)13:00〜14:30

●ミュージアムコンサート

学校法人得丸学園 宮河内幼稚園5歳児　32名
[一緒に視る]
日時:2026年1月28日(水)10:30〜12:00

宇佐市立長峰小学校5・6年生　19名
[一緒に視る]

日時:2026年1月29日(木)10:00〜12:00

臼杵市立上北小学校1〜3年生　14名
[一緒に視る]

日時:2026年1月29日(木)10:00〜12:00

先生のためのワークショップ

●「ぼわんぼわん」

場所:九重町立南山田小学校
日時:2025年9月8日(月)13:10〜14:10
参加者:由布市立阿南小学校教諭/3名・児童/17名

場所:OPAM1Fアトリ

[ふわもコスベシヤル ギャラクシー+ピンボン]
場所:臼杵市立川登小学校
日時:2025年10月24日(金)13:50~15:20
参加者:臼杵市立川登小学校教諭/7名・児童/16名
場所:2Fアトリエ
日時:2025年12月25日(木)14:40~16:10
参加者:別府大学短期大学部/20名

[星をつくる☆]
場所:中津市立津民小学校
日時:2025年10月27日(月)13:50~15:20
参加者:中津市立津民小学校教諭/4名・児童/2名・地域の人/2名

[積み紙の街]
場所:社会福祉法人法蓮福祉会 かいぞえこども園
日時:2025年10月28日(火)10:00~11:30
参加者:社会福祉法人法蓮福祉会 かいぞえこども園教諭/8名・児童/15名

[ミュージアムスコープ+一緒に視る]
場所:2Fアトリエ
日時:2026年2月4日(水)14:30~16:00
参加者:小学校教育研究会

場所:2Fアトリエ
日時:2026年2月9日(月)9:20~11:10
参加者:臼杵市立南野津小学校
場所:別府市立亀川小学校体育館
日時:2026年2月26日(木)14:30~16:00
参加者:別府市立内電保育所・別府市立亀川幼稚園

地域美術館体験講座

場所:日田市民文化会館 at パトリア日田
ヨーロッパ美術紀行
—大分県立美術館コレクション—
日時:2025年6月30日(月)9:10~10:00
参加者:日田市立小野小学校1~6年生 18名
日時:2025年6月30日(月)10:10~11:00
参加者:日田市立東溪小学校5年生 5名
日時:2025年7月1日(火)9:10~10:00
参加者:日田市立三和小学校5年生 43名
日時:2025年7月1日(火)11:10~12:00
参加者:日田市立高瀬小学校5年生 28名
日時:2025年7月1日(火)13:45~14:40
参加者:日田市立津江小学校5年生 4名
日時:2025年7月2日(水)9:10~10:00
参加者:日田市立威宜小学校5年生 25名
日時:2025年7月2日(水)10:10~11:00
参加者:日田市立威宜小学校5年生 24名
日時:2025年7月2日(水)11:10~12:00
参加者:日田市立威宜小学校5年生 22名
日時:2025年7月3日(木)9:10~10:00
参加者:日田市立大明小学校5・6年生 15名
日時:2025年7月3日(木)10:55~11:45
参加者:日田市立石井小学校1~6年生 20名
日時:2025年7月3日(木)14:00~14:50
参加者:日田市立前津江小学校5年生 20名
日時:2025年7月4日(金)9:10~10:00
参加者:日田市立桂林小学校5年生 40名
日時:2025年7月4日(金)11:10~12:00
参加者:日田市立有田小学校5年生 29名
日時:2025年7月4日(金)13:20~14:10
参加者:日田市立日隈小学校5年生 41名
日時:2025年7月8日(火)9:10~10:00
参加者:日田市立大山小学校5・6年生 26名
日時:2025年7月8日(火)10:10~11:00
参加者:日田市立いつま小学校1~6年生 20名
日時:2025年7月8日(火)11:10~12:00
参加者:日田市立若宮小学校5年生 16名
日時:2025年7月8日(火)13:20~14:10
参加者:日田市立三芳小学校5年生 23名
日時:2025年7月8日(火)14:20~15:10
参加者:日田市立三芳小学校5年生 22名

日時:2025年7月9日(水)9:10~10:00
参加者:日田市立光岡小学校5年生 27名
日時:2025年7月9日(水)10:10~11:00
参加者:日田市立光岡小学校5年生 26名
日時:2025年7月9日(水)11:10~12:00
参加者:日田市立光岡小学校5年生 26名
日時:2025年7月9日(水)13:20~14:10
参加者:日田市立朝日小学校5年生 18名

連携プログラム

大分県教育委員会義務教育課とのミュージアムを活用した子どもの感性育成事業(小4ミュージアムツアー)

場所:OPAM 2Fアトリエ・研修室
3Fホワイエ・展示室B、コレクション展示室
日時:2025年8月7日(木)10:50~11:40
参加者:小4ミュージアムツアー
ガイドスタッフ(研修) 24名
日時:2025年8月7日(木)14:25~15:25
参加者:引率教員(研修) 16名
日時:2025年9月1日(月)10:00~12:00
参加者:中津市立上津小学校3・4年生 13名
日時:2025年9月11日(木)10:00~12:00
参加者:日田市立高瀬小学校4年生 22名
日時:2025年9月12日(金)10:00~12:00
参加者:佐伯市立切畑小学校4年生 14名
日時:2025年9月12日(金)13:00~15:00
参加者:大分市立高田小学校4年生 68名
日時:2025年9月22日(月)10:00~12:00
参加者:宇佐市立高家小学校4年生 10名
日時:2025年9月25日(木)10:00~12:00
参加者:杵築市立山香小学校4年生 30名
日時:2025年10月17日(金)13:00~15:00
参加者:大分市立八幡小学校4年生 28名
日時:2025年10月24日(金)10:00~12:00
参加者:別府市立亀川小学校4年生 49名
日時:2025年10月29日(水)10:00~12:00
参加者:日田市立津江小学校1~6年生 22名
日時:2025年11月12日(水)10:00~12:00
参加者:宇佐市立四日市南小学校4年生 36名
日時:2026年1月22日(木)10:00~12:00
別府市立石垣小学校特別支援学級1~6年生 22名
日時:2026年1月23日(金)13:00~15:00
豊後高田市立高田小学校4年生 53名

大分県教育センターからの研修

●ステップアップ研修I

[美術館を活用した図画工作科指導]

日時:2025年11月10日(月)10:10~12:30
参加者:在職2年目公立小学校教諭 30名
日時:2025年11月10日(月)14:00~16:20
参加者:在職2年目公立小学校教諭 26名
日時:2025年11月11日(火)10:10~12:30
参加者:在職2年目公立小学校教諭 21名
日時:2025年11月11日(火)14:00~16:20
参加者:在職2年目公立小学校教諭 14名

●テーマ別研修

[美術館を活用した教科指導]

日時:2025年10月31日(金)10:10~12:30
参加者:中堅教諭等資質向上研修選択者 10名

大分県幼児教育センターからの研修

●幼稚園新規採用教員研修

[様々な表現を楽しむ造形遊び]

日時:2025年8月5日(火)13:00~16:00
参加者:公・私立幼稚園新規採用教員 35名

●幼稚園中堅教諭等資質向上研修

[幼児期における造形活動の展開]
日時:2025年8月27日(水)13:00~16:00
参加者:公・私立幼稚園中堅教諭 11名

●幼保連携型認定こども園新規採用保育教諭研修

[幼児期における造形活動の展開]
日時:2025年9月2日(火)13:15~16:25
2025年9月3日(水)13:15~16:25
参加者:幼保連携型認定こども園新規採用保育教諭
9/2 18名、9/3 18名

●幼保連携型認定こども園中堅教諭等資質向上研修

[体感ワークショップ~実践編・ギャラリーツアー/
身体で視る展覧会・鑑賞ワークショップ~工作ワークショップ]
日時:2025年9月9日(火) 10:30~15:45
参加者:幼保連携型認定こども園中堅教諭 20名

外部連携

[ふわもこ+視る・触る「石って、すげえ!」]
場所:2Fアトリエ
日時:2025年8月1日(金)12:00~15:00
参加者:臼杵市教育委員会社会教育課うすき塾12名

[ふれあいトライアルデー in 大分]
場所:2Fアトリエ
日時:2025年11月22日(土)13:30~15:00
参加者:中学生から大学生 8名

[豊かな情操を育む造形教育をめざして]

場所:2Fアトリエ
日時:2025年12月5日(金)10:00~12:00
参加者:造形教育研究大会参加者 18名

サポーター・教育普及グループ活動

場所:OPAM 2Fアトリエ

[オリエンテーション]
日時:2025年4月12日(土)14:00~16:00
参加者:16名

[ワークショップ片付け・
道具お手入れ、newぼわんぼわん試作]
日時:2025年5月18日(日)14:00~16:00
参加者:17名

[ワークショップ準備・教材ボックス掃除・冷蔵庫整理]
日時:2025年6月29日(日)14:00~16:00
参加者:19名

[ワークショップ準備・教材ボックス掃除・
冷蔵庫整理]
日時:2025年7月6日(日)14:00~16:00
参加者:17名

[ワークショップ準備・片付け]
日時:2025年8月3日(日)14:00~16:00
参加者:17名

[木節粘土を砕いて粉にする!]
日時:2025年9月28日(日)14:00~16:00
参加者:13名

[ワークショップ準備]
日時:2025年10月26日(日)14:00~16:00
参加者:12名

[ワークショップ片付け・準備]
日時:2025年11月23日(日)14:00~16:00
参加者:14名

[ワークショップ準備]
日時:2025年12月21日(日)14:00~16:00
参加者:12名

[ワークショップ展示準備]
日時:2026年1月18日(日)10:00~12:00
参加者:19名

[ワークショップ準備]
日時:2026年2月22日(日)14:00~16:00

[ワークショップ準備]
日時:2026年3月29日(日)14:00~16:00

OPAM教育普及のFacebook、Instagramやってます! 見てね!

OPAMのYouTubeでも教育普及の活動が見られます。



 https://instagram.com/cyappy_opam/
 <https://www.facebook.com/OPAMeducation>
 <https://www.youtube.com/@opam6364>

企画・制作・発行

公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団

事務局

大分県立美術館 学芸企画課 教育普及室
大分市寿町2番1号 TEL.097-533-4502

執筆

榎本 寿紀 大分県立美術館 学芸企画課 教育普及室 室長

編集:三浦 翠

デザイン:森竹 俊象

2026年2月発行



令和7年度 文化庁
Innovate MUSEUM事業

※本誌に掲載した記事・写真・イラスト等の無断転載は禁じます。

大分県立美術館 教育普及室
〒870-0036 大分市寿町2番1号
TEL 097-533-4502
<https://www.opam.jp>

https://instagram.com/cyappy_opam/
<https://www.facebook.com/OPAMeducation>
<https://www.youtube.com/@opam6364>



OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum